

エレベーター仕様要項	
分類	仕様項目
機種名称	機種室レスエレベーター
機種形式	RT9-2S
用途	乗用
制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
操作方式	乗合全自動方式（1C-2BC）
積載量	600kg
定員	9名
定格速度	60m/min
戸閉方式	2枚戸片引き（2S）
出入口幅	800mm
出入口高さ	2000mm
かご室サイズ（内法開口）	1050mm
かご室サイズ（内法奥行）	1520mm
かご室内法高さ	2300mm
出入口方式	一方向出入口
正面側停止数	9停止（1-9階）
動力用電源	AC3φ-210V-60Hz
照明用電源	AC1φ-100V-60Hz
耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
戸閉走行保護装置	あり
かご室トランク	トランクあり
数階間隔	10mm
車いす仕様	制御機能付
視覚障がい者対応仕様	あり
地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
停電時自動着床装置	あり
かご内防犯カメラ	カメラ別途工事（ケーブル・カメラ用電源エレベーター手配）
かご呼び取消機能	あり
乗場三方枠	大枠床広幕板なし 130mm～350mm ステンレスヘアライン（1-9階）
乗場戸	ステンレスヘアライン（1-9階）
乗場戸窓	網入り合わせガラス（200×700mm）仕上面段差なしt10.56（1-9階）
乗場数階	ステンレス製（1-9階）
乗場インジケータ	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1-9階）
乗場インジケータ体形ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-9階）
乗場インジ運行表示灯1	休止表示
乗場インジ運行表示灯2	専用表示
車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン体形 ステンレスヘアライン（1-9階）
車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-9階）
乗場タッチレス機能	タッチレスボタン・クリック機能付（一般用+車いす専用）抗ウイルス・抗菌仕様（1-9階）

1-1号棟

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事（昇降路壁は5cm² 辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器吊重用のフック設置工事（E.V工事から支給）
- 通過階がある場合の非常出口設置工事（かご数階先端から125mm以下）
- ピット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ピット床下部使用の場合の建築対策工事
- ピットが深い場合の埋め戻し・浅い場合はつり工事
- 段違いピット時のピット内保護柵工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
 - ※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
 - （対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
 - ※（200mm以上推奨）
 - （対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
 - （対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付する
- その他建築に関する工事

設備工事関係

- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（繁ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）/台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- 建設設備運動に必要な接点供給工事
- ピット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）

平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある

- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
 - ・5C-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）

天井	スタンダード：フラット（白色） 天井面材：鋼板塗装（メーカー標準色）
正面壁	化粧鋼板
側面壁	化粧鋼板
袖壁材質	ステンレスヘアライン
出入口上板	化粧鋼板
かご室戸	化粧鋼板
かご室戸窓	網入り合わせガラス（200×700mm）仕上面段差なしt10.56
巾木	ステンレスヘアライン
かご床	ステンレス製
かご室数階	アルミ製 2枚戸片引き用
かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
かごボタン	タッチレスボタン・クリック機能付（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）
かご操作盤液晶インジケータ表示言語	2ヶ国語表示（日本語、英語）
車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
車いす専用正かご操作盤インジケータタイプ	ドットLED（橙色）
車いす専用かごボタン	タッチレスボタン・クリック機能付（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
かご室換気	ヘルスエアー（空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
かご室鏡	ステンレス鏡面枠なし3分割（570mm×1400mm）
キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
壁保護幕	T字カット磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
床保護マット	あり
かご戸閉時引き込まれ防止センサー	あり
セーフティシュー	片側（多光線センサー付き）
自動戸閉促進・乗場前検知挟まれ防止	自動戸閉促進・乗場前検知挟まれ防止
遮煙機能	大臣認定品 2枚戸片引き用（1階）（認定番号CAS-0520）
点字名板取付方法	接着
発音式かごボタン	行先階ボタンのみ
発音式乗場ボタン	あり
おもり非常止め	なし
火災時管制運転方式	火報信号連動式
冠水時管制運転	あり
インターホン型式	6V1局
乗場インターホンボックスタイプ	ステンレスヘアライン（埋め込み形）（1、5階乗場）
無電圧A接点支給	防犯警報ボタン押下時
防犯警報装置方式	かご室防犯警報ボタン式
警報装置運動各階強制停止	あり
インターホンボタン連動乗場ベル	あり
かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス
フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2-9階）
煙感知器点検口スイッチ	正面側上部取付
遮炎性能	乗場扉あり

{03147}

注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は24N/mm² 以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%～-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です
 - 昇降路内の温度は-5℃～40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により氷結・結露しないこと
 - 金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
- （2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、強い光が当たらないよう対策を実施のこと

- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います
 - （建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を越由しないこと）

車椅子仕様
<ol style="list-style-type: none">かご専用操作盤（正・副2面取付）※車椅子マーク付 かご内鏡（正面壁部：3分割） かご内手摺、両側壁2方 乗場専用押ボタン（各階）※車椅子マーク付 かごの戸光電装置（多光軸式） 戸開放時間延長（10秒） 戸閉速度制御 床合わせ補正装置

視覚障害者仕様
<ol style="list-style-type: none">各階乗場押ボタンに点字名板貼付 かご操作盤に点字名板貼付 戸開放時間延長 オートアナウンス装置

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点

エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。
管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。

（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）
もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。

- インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。
- 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。
- 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。
 - 例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。

[サービス仕様]

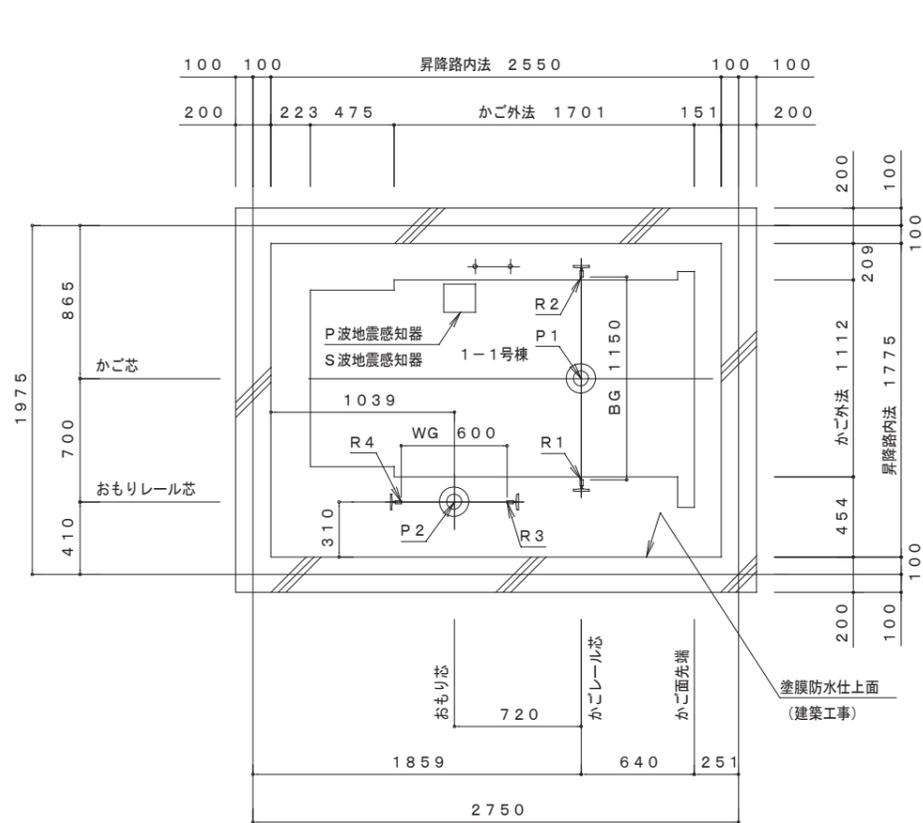
- （注） エレベーターメンテナンス契約について
- *このエレベーターは、エレベーターリモートメンテナンス契約対応可能機種です。
- （注）
- 基本サービス
 - 地震時エレベーター自動診断&復旧システム
 - 地震時管制運転装置で停止したエレベーターについて、異常の有無を自動診断して安全確認し、異常がなければ自動復旧させます。
 - 遠隔診断
 - 診断運転モードにより、深夜などに高密度な点検を無人で行います。
 - 遠隔閉込め救出
 - インターホンとカメラでエレベーター内の状況を確認し、遠隔操作によりかご内に閉込められた乗客を救出します。
 - フレキシブルメニュー
 - スマートフォンサービス
 - 専用アプリをインストールしたスマートフォンを携えて、乗場機械室が設置された乗場に近づくとハンズフリーで自動呼出し、先行階の自動登録などが行えます。
 - 防犯カメラ録画サービス
 - エレベーター内カメラの画像を専用レコーダーで録画します。録画した画像はUSBメモリで簡単に取り出し、確認が可能です。
 - ・モーションサーチ
 - エレベーター内の動きを画像解析技術で判別します。動きが意いし、ずっと動かないなど、もしもの緊急事態を検出し、エレベーター停止などを行います。

- *上記サービス提供のためには、メンテナンス契約が必要になります。
- *各サービスについては、一部ご契約対象とならないエレベーターがあります。
- *リモートメンテナンス機能をより有効に活用することで、「ビル遠隔監視サービス」が利用可能です。（デジタルレコーダー異常、各種設備故障、火災・侵入、その他）
- *スマートフォンサービスは、遠隔監視用回線にLTE回線が適用できる場合となります。

乗場遮煙ドア設置上の条件

- 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。
- 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧A接点、接点電圧DC24V）

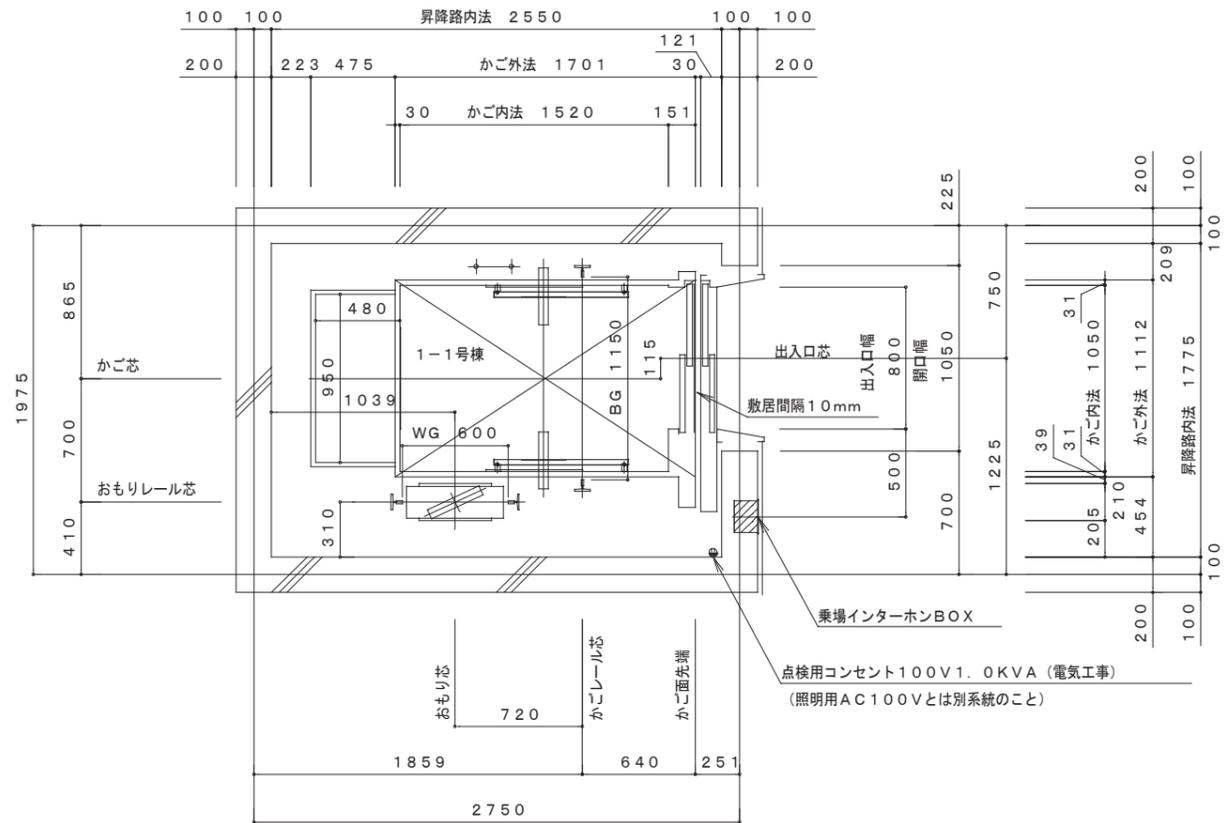
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備が影響を受ける恐れがあります
 - 次の対策をお勧めします
 - エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
 - エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
 - エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
 - 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います。
 - 電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110、2130、JISC-4034-1
 - 制御盤：JEM1021、1460
- 尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です。



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

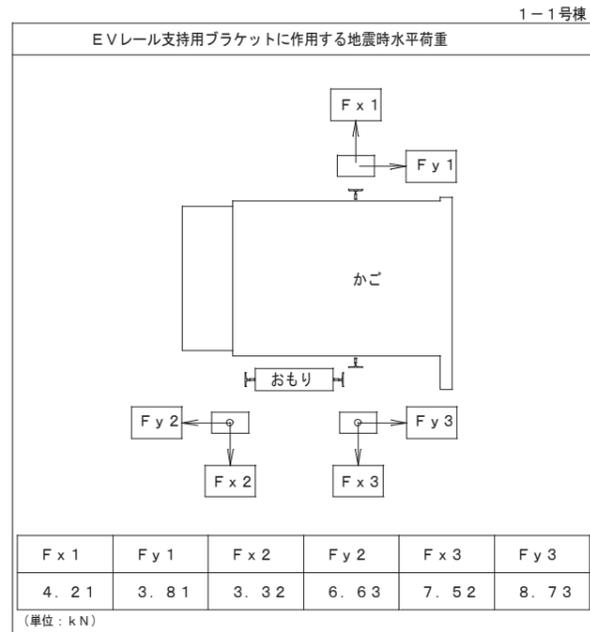
ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)

レール下端部荷重 (長期荷重)				ピット荷重 (短期荷重)	
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)	P1 (kN)	P2 (kN)
8.3	25.1	42.8	22.3	78.1	67.0

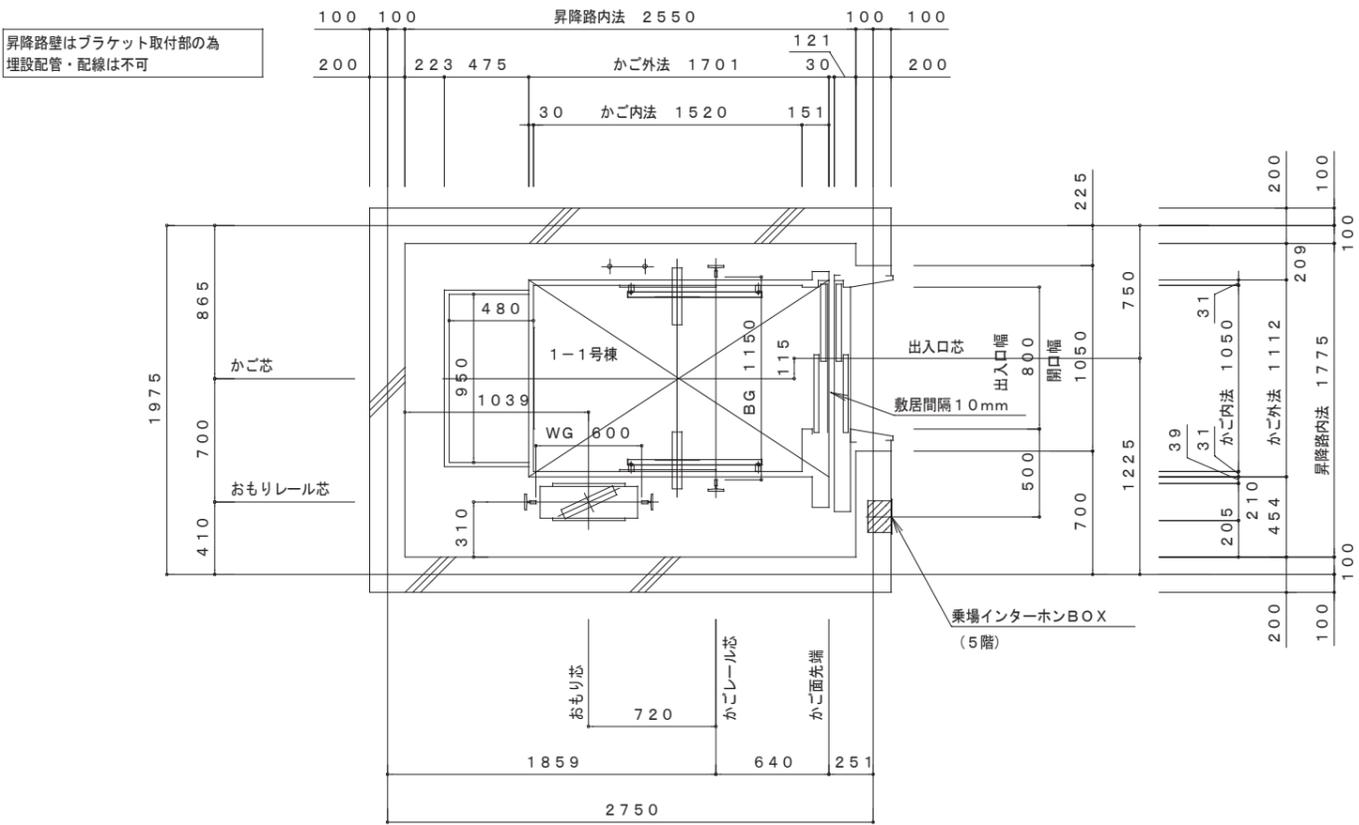


昇降路平面図 (1/30)
(1階)

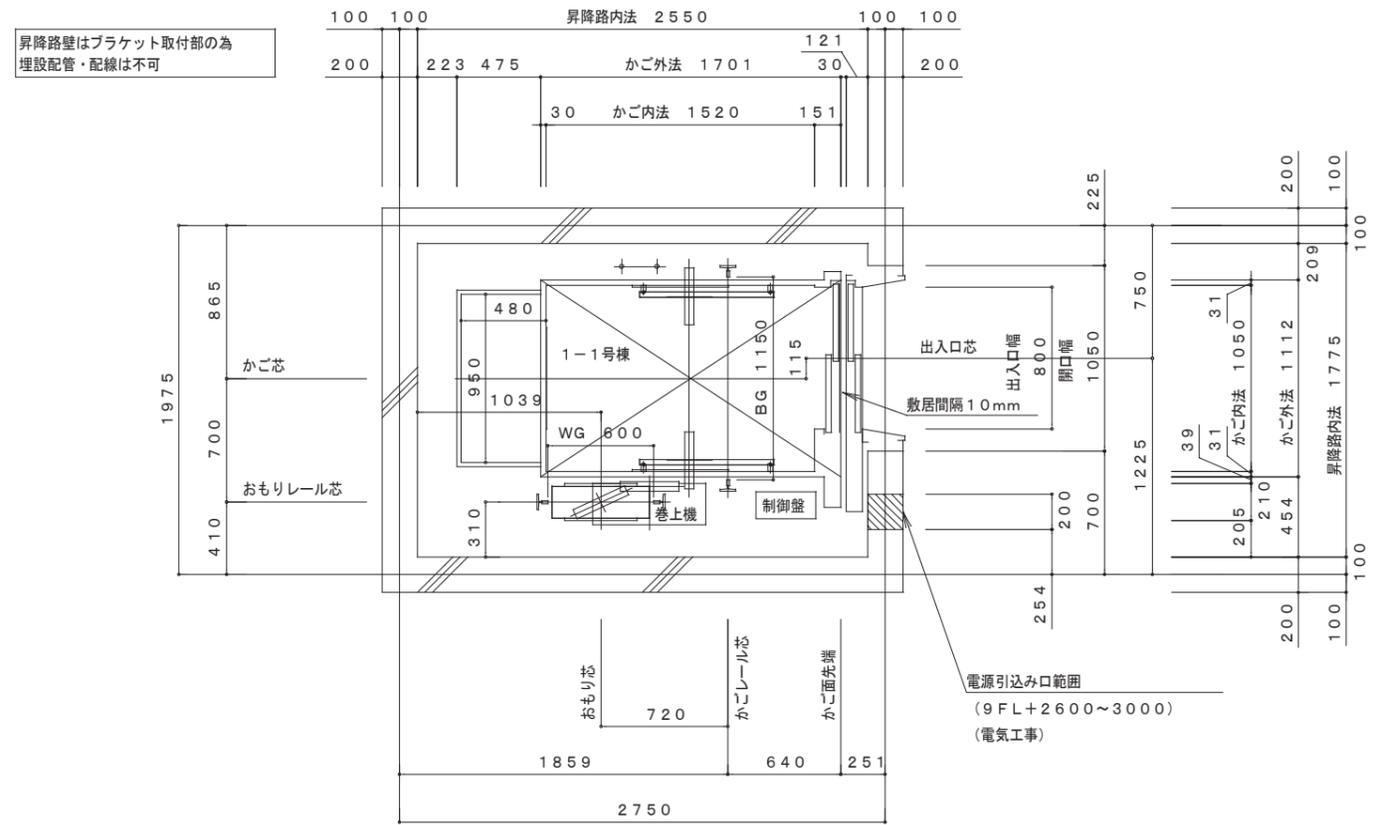
昇降路壁はブラケット取付部の為埋設配管・配線は不可



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



昇降路平面図 (1/30)
(2-8階)



昇降路平面図 (1/30)
(9階)

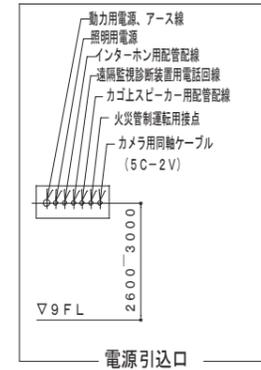
動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 ^(*)	電線サイズ	接地線サイズ
1-1号棟	AC3φ210V 60Hz	4.1kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	72mまで 8mm ² 125mまで 14mm ² 191mまで 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源AC1φ100V60Hz (設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台)

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込み口 (9FL+2600~3000)
 動力用AC3φ-210V-60Hz
 照明用AC1φ-100V-60Hz
 D種接地工事
 電源線引出し長さ 7000mm
 (電気工事)



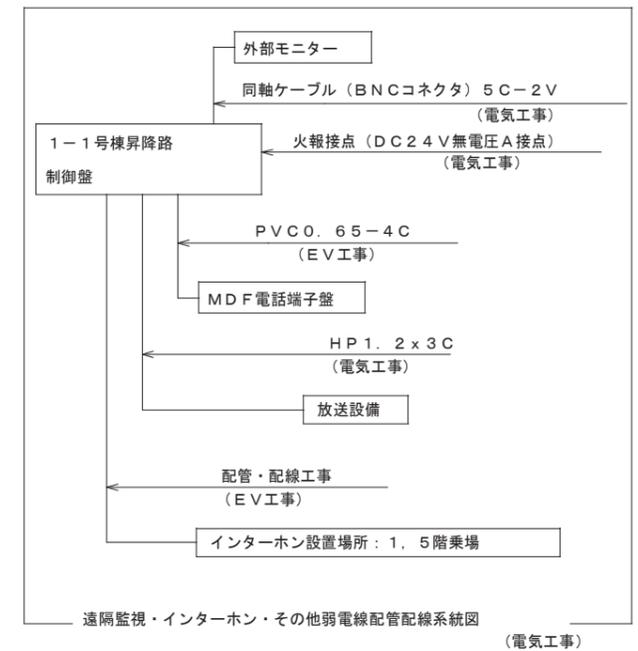
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

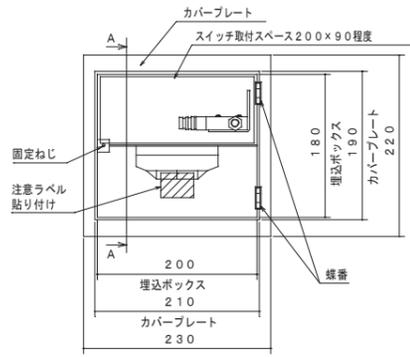
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 Pi (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (Ki)	6パルス等価 容量 [Ki x Pi] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	1-1号棟 AXIEZ-LINKs (600kg-60m/min)	5.1	1	5.1	31	3.4	17.4	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (Ki=1.8相当)									30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流す高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

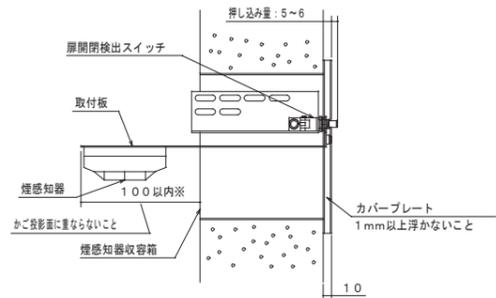
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$





煙感知器・点検ボックス (参考例)

※点検ボックスは建築工事



矢視A-A

※取付位置 検討願います。

煙感知器 (電気工事)

- ・外部より点検可能な構造として下さい
- ・雨水浸入が無い様配慮下さい
- ・EV運動スイッチ付 (EV工事)
- ・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
- ・点検口は下記①または②として下さい

①EV昇降路専用品 (スイッチ取付台座付き) (1) ~ (4) のいずれか

- (1) ホーチキ KUS-1C
- (2) 能美防災 FXSJ001A-HU
- (3) ニッタン NID-T-G
- (4) パナソニック BV95351 (BOX) + BV95381H (扉)

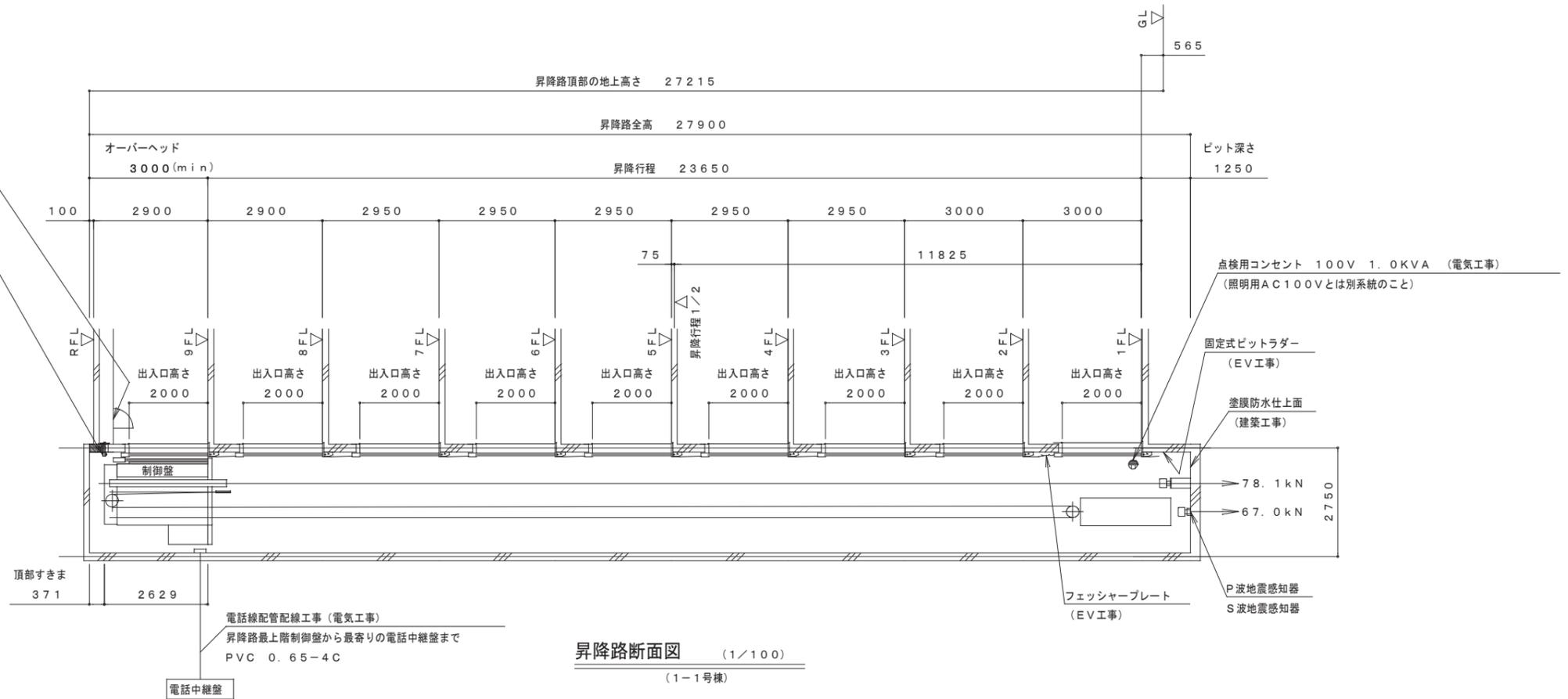
②以下2項目を満足する点検口 ~ 「煙感知器・点検ボックス (参考例)」参照

- (1) スイッチ取付スペース200×90程度確保できる。
- (2) 錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かさないこと。

※取付位置 検討願います。

昇降路内の温度は40℃以下とする

天井のある場合は天井点検口必要 (建築工事)



昇降路断面図 (1/100)

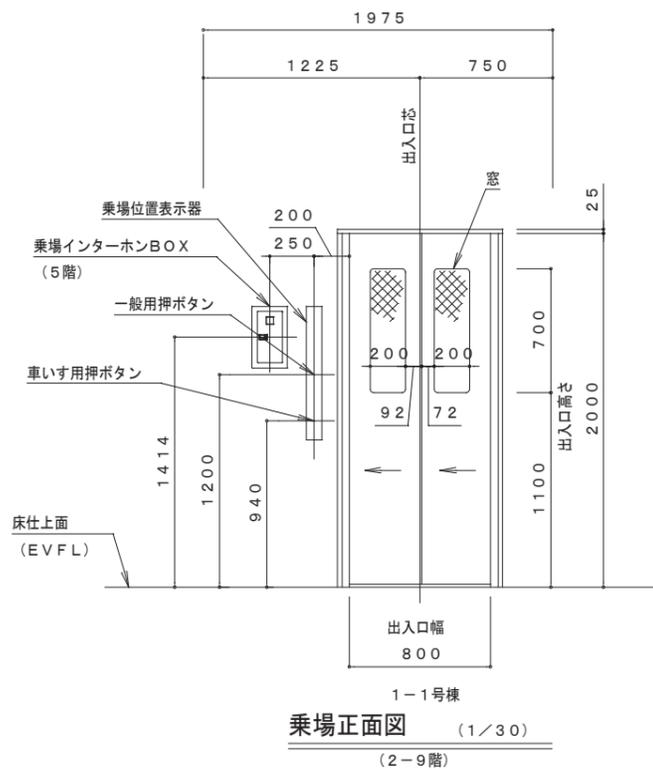
(1-1号棟)

2-9FL=建築2-9FL

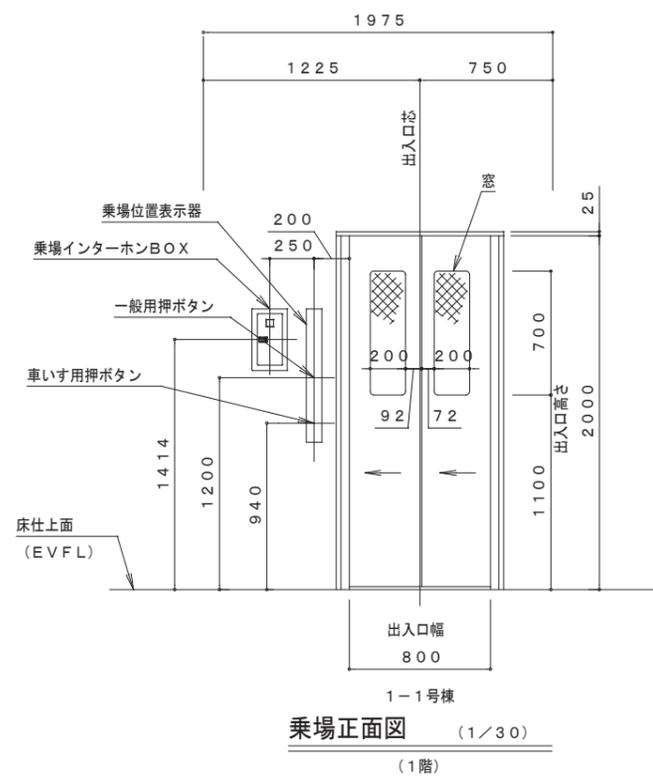
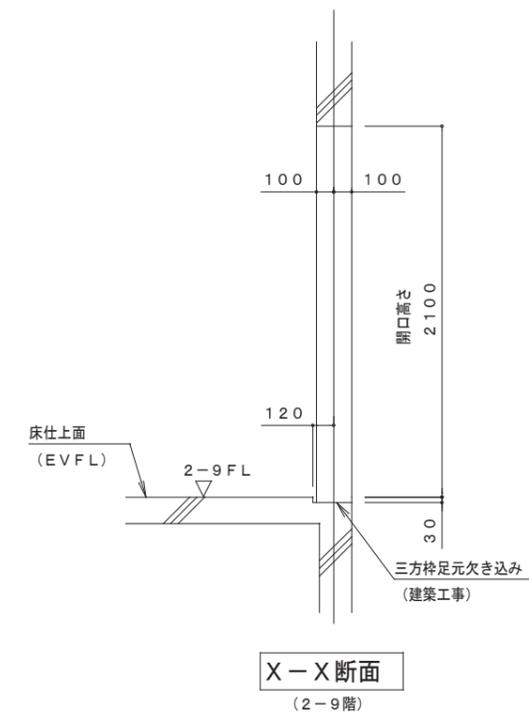
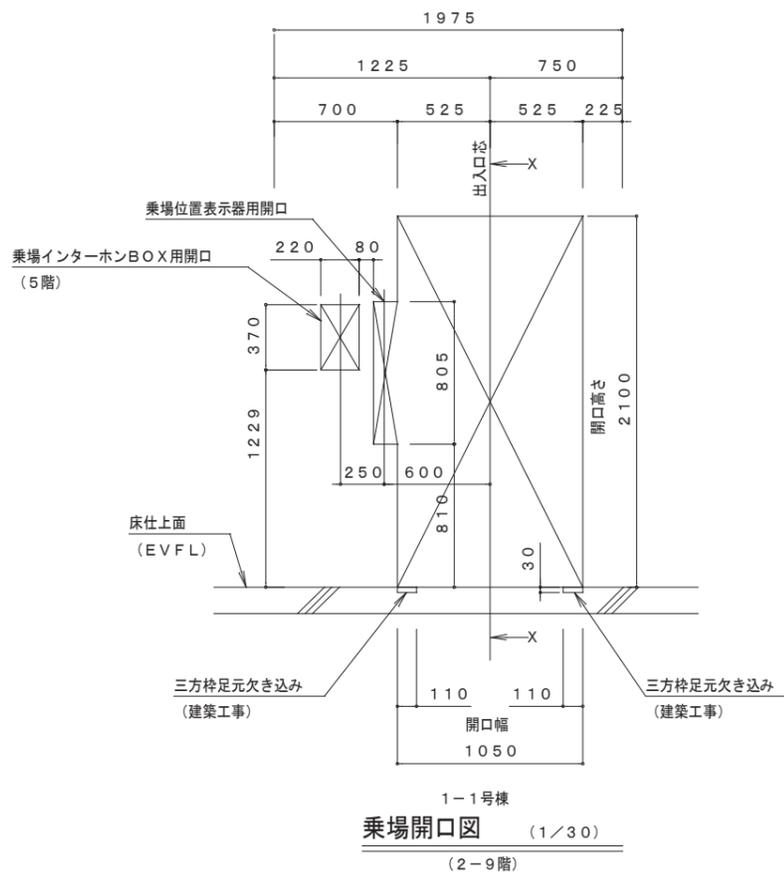
1FL=GL+565

ブラケット取付のため、ビット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)

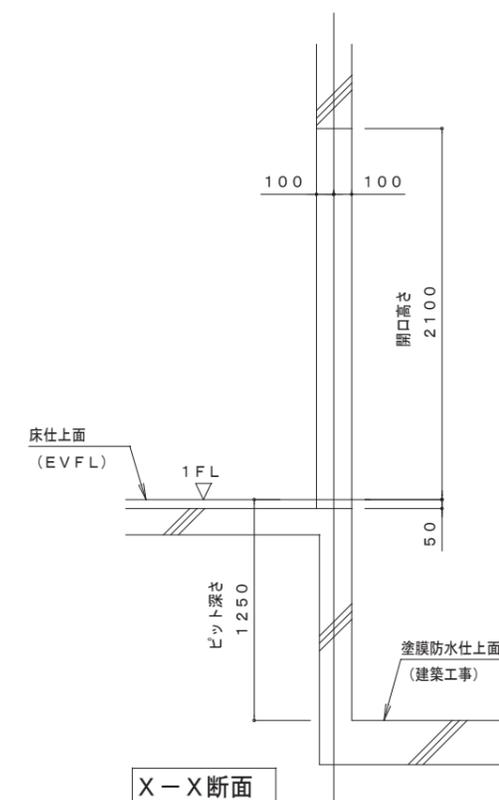
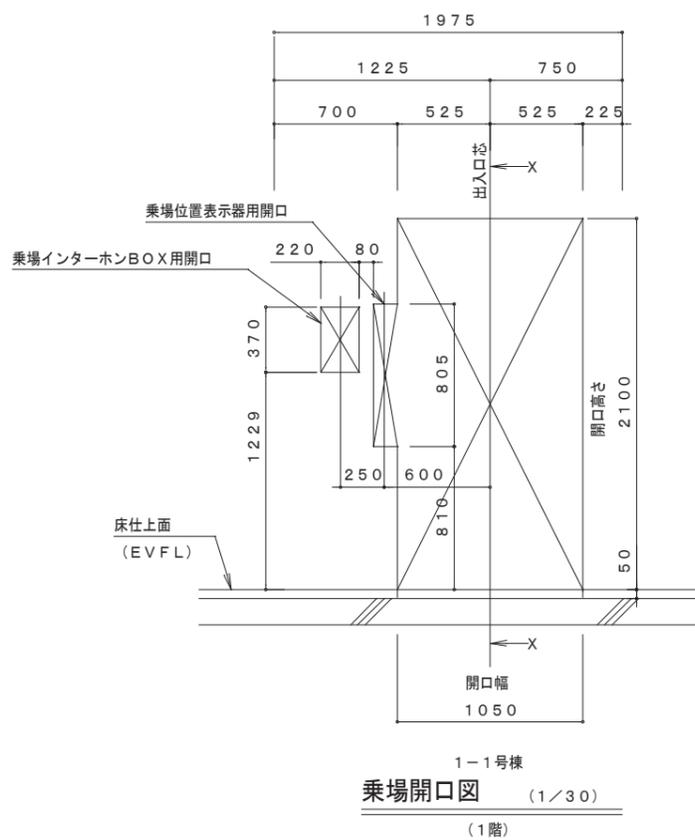
図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。



※窓付の場合は、特定防火設備に該当しません



※窓付の場合は、特定防火設備に該当しません



エレベーター仕様要項	
分類	仕様項目
	仕様項目
	1-2号棟
	機種名称
	機械室レスエレベーター
	機種形名
	R T 9-2 S
	用途
	乗用
	制御方式
	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式
	乗合全自動方式（1C-2BC）
	積載量
	600kg
	定員
	9名
	定格速度
	60m/min
	戸閉方式
	2枚戸片引き（2S）
	出入口幅
	800mm
	出入口高さ
	2000mm
	かご室サイズ（内法開口）
	1050mm
	かご室サイズ（内法奥行）
	1520mm
	かご室内法高さ
	2300mm
	出入口方式
	一方向出入口
	正面側停止数
	8停止（1-8階）
	動力用電源
	AC3φ-210V-60Hz
	照明用電源
	AC1φ-100V-60Hz

その他仕様	
耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
かご室トランク	トランクあり
散居間隔	10mm
車いす仕様	制御機能付
視覚障がい者対応仕様	あり
地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
停電時自動着床装置（MED）	あり
かご内防犯カメラ	カメラ別途工事（ケーブル・カメラ用電源エレベーター手配）
かご呼び取消機能	あり

乗場仕様	
乗場三方枠	大枠末広幕なし 130mm~350mm ステンレスヘアライン（1-8階）
乗場戸	ステンレスヘアライン（1-8階）
乗場戸窓	網入り合わせガラス（200×700mm）仕上面段差なしt10.56（1-8階）
乗場数階	ステンレス製（1-8階）
乗場インジケータ	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1-8階）
乗場インジケータボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-8階）
乗場インジ運行表示灯1	休止表示
乗場インジ運行表示灯2	専用表示
車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン一体形 ステンレスヘアライン（1-8階）
車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-8階）
乗場タッチレス機能	タッチレスボタン・クリック機能付（一般用+車いす専用）抗ウイルス・抗菌仕様（1-8階）

天井	スタンダード：フラット（白色） 天井素材：鋼板塗装（メーカー標準色）
正面壁	化粧鋼板
側面壁	化粧鋼板
袖壁材質	ステンレスヘアライン
出入口上板	化粧鋼板
かご室戸	化粧鋼板
かご室戸窓	網入り合わせガラス（200×700mm）仕上面段差なしt10.56
巾木	ステンレスヘアライン
かご床	ステンレス製
かご室敷居	アルミ製 2枚戸片引き用
かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
かごボタン	タッチレスボタン・クリック機能付（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）
かご操作盤液晶インジケータ表示言語	2か国語表示（日本語、英語）
車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
車いす専用正かご操作盤インジケータタイプ	ドットLED（橙色）
車いす専用かごボタン	タッチレスボタン・クリック機能付（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
かご室換気	ヘルスエア（空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
かご室鏡	ステンレス鏡面枠なし3分割（570mm×1400mm）
キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
壁保護幕	T字カット磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
床保護マット	あり
戸閉時引き込まれ防止センサー	あり
セーフティシュー	片側（多光軸センサー付き）
自動戸閉促進・乗場前検知検まれ防止	自動戸閉促進・乗場前検知検まれ防止
遮煙機能	大臣認定品 2枚戸片引き用（1階）（認定番号CAS-0520）
点字名板取付方法	接着
発音式かごボタン	行先階ボタンのみ
発音式乗場ボタン	あり
おもり非常止め	なし
火災時管制運転方式	火報信号運動式
冠水時管制運転	あり
インターホン型式	6V1局
乗場インターホンボックスタイプ	ステンレスヘアライン（埋め込み形）（1、5階）
無電圧A接点支給	防犯警報ボタン押下時
防犯警報装置方式	かご室防犯警報ボタン式
警報装置連動各階強制停止	あり
インターホンボタン連動乗場ベル	あり
かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス
フェッシャープレート	エレベーター手配（標準品）（2-8階）
煙感知器点検スイッチ	正面側上部取付
遮炎性能	乗場扉あり

(03147)

車椅子仕様
1. かご専用操作盤（正・副2面取付）※車椅子マーク付
2. かご内鏡（正面壁部：3分割）
3. かご内手摺：両側壁2方
4. 乗場専用押ボタン（各階）※車椅子マーク付
5. かごの戸光電装置（多光軸式）
6. 戸開放時間延長（10秒）
7. 戸閉速度制御
8. 床合わせ補正装置

視覚障害者仕様
1. 各階乗場押ボタンに点字名板貼付
2. かご操作盤に点字名板貼付
3. 戸開放時間延長
4. オートアナウンス装置

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号） もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。 1. インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 2. 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 3. 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。 例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。

（注）エレベーターメンテナンス契約について
<p>※このエレベーターは、エレベーターリモートメンテナンス契約対応可能機種です。</p> <p>【サービス仕様】</p> <ol style="list-style-type: none"> 基本サービス <ul style="list-style-type: none"> 地震時エレベーター自動診断＆復旧システム 地震時管制運転装置で停止したエレベーターについて、異常の有無を自動診断して安全確認し、異常がなければ自動復旧させます。 遠隔診断 診断運転モードにより、深夜などに高密度な点検を無人で行います。 遠隔防犯め救出 インターホンとカメラでエレベーター内の状況を確認し、遠隔操作によりかご内に閉込められた乗客を救出します。 フレキシブルメニュー <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンサービス 専用アプリをインストールしたスマートフォンを携えて、発着機場末が設置された乗場に近づくとハンズフリーで自動呼出し、先行階の自動登録などが行えます。 防犯カメラ録画サービス エレベーター内カメラの画像を専用レコーダーで録画します。録画した画像はUSBメモリで簡単に取り出し、確認が可能です。 ・モーションサーチ エレベーター内の動きを画像解析技術で判別します。動きが激しい、ずっと動かないなど、もしもの緊急事態を検出し、エレベーター停止などを行います。 <p>※上記サービス提供のためには、メンテナンス契約が必要になります。 ※各サービスについては、一部ご契約対象とらないエレベーターがあります。 ※リモートメンテナンス機能をより有効に活用することで、「ビル遠隔監視サービス」が利用可能です。（デジタルレコーダー異常、各種設備故障、火災・侵入、その他） ※スマートフォンサービスは、遠隔監視回線にLTE回線が適用できる場合となります。</p>

乗場遮煙ドア設置上の条件
<ul style="list-style-type: none"> 乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。 自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置階のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧α接点、接点電圧DC24V）

1-2号棟

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタンの穴あけ工事
（昇降路壁は5cm²辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器揚重用のフック設置工事（E/V工事から支給）
- 通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご散居先端から125mm以下）
- ピット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ピット床下部使用の場合の建築対策工事
- ピットが深い場合の埋め戻し、浅い場合ははり工事
- 段違いピット時のピット内保護柵工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付ける
- その他建築に関する工事

設備工事関係

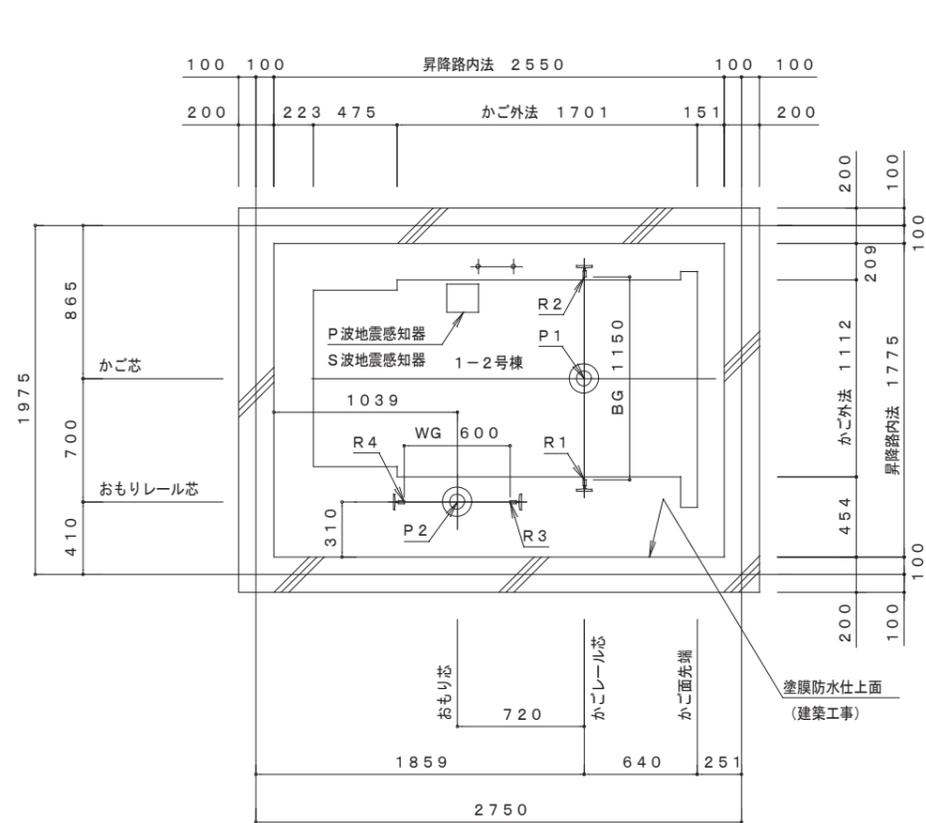
- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（紫ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（φ9φ×10本）/台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- 建設設備連動に必要な接点供給工事
- ピット内点検用コンセント設置工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・5C-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）

- 昇降路の換気設備工事（平成12年建設告示1413号第1第三号により昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります）
発熱量 エレベーター駆動部（ $\frac{1}{2}$ W/台）1+エアコン（ $\frac{1}{2}$ W/台）1
- 据付工事用の仮設電源を無償支給願います。（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います。）
- 監視盤電源の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

注意事項

- 昇降路間口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は24N/mm²以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要
（1）昇降路内の温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等により水結・結露しないこと
（2）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、強い光が当たらないよう対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な遠温配膳車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）

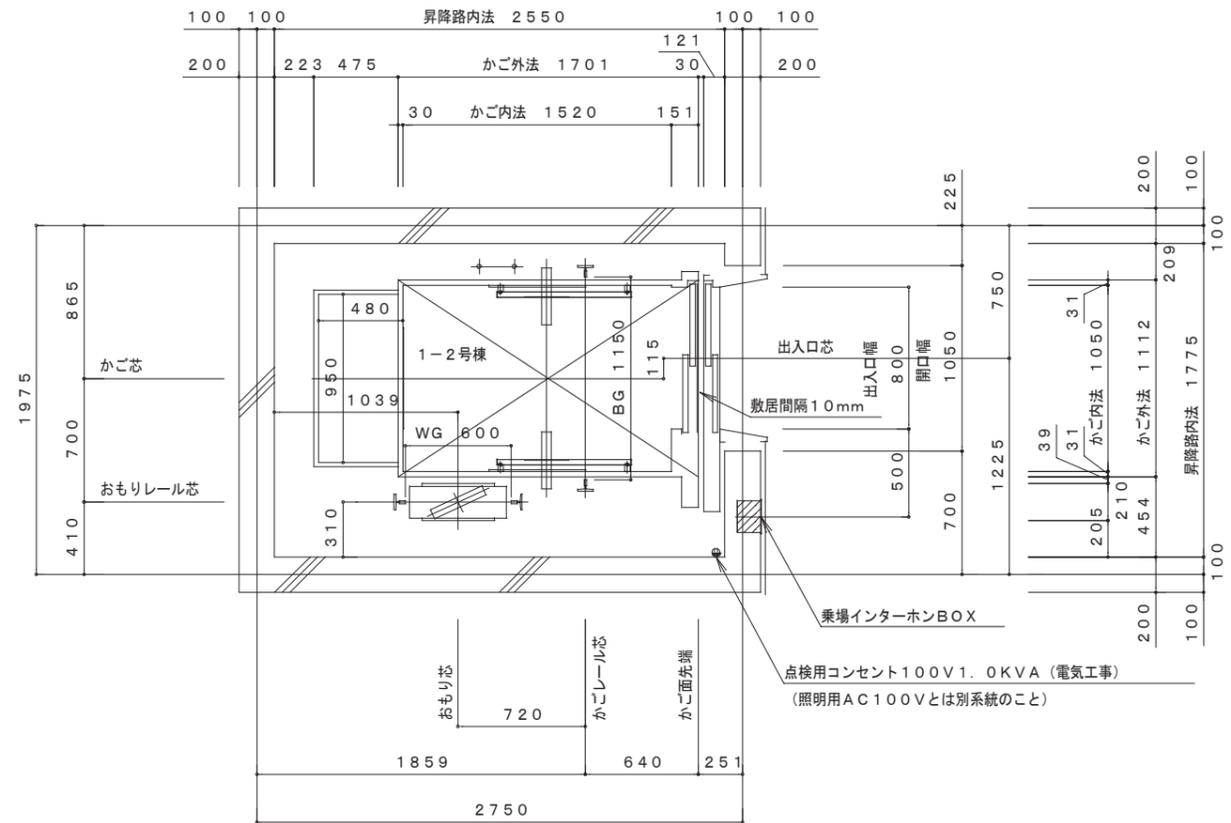
- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離を要する
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が閉まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います。
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110、2130、JISC-4034-1
制御盤：JEM1021、1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です。



昇降路平面図 (1/30)
(ピット)

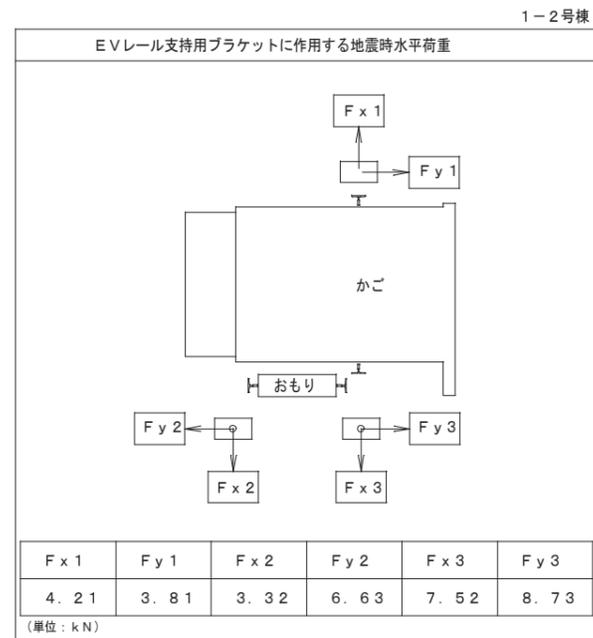
ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)

レール下端部荷重 (長期荷重)				ピット荷重 (短期荷重)	
R1 (kN)	R2 (kN)	R3 (kN)	R4 (kN)	P1 (kN)	P2 (kN)
8.3	25.1	42.8	22.3	78.1	67.0

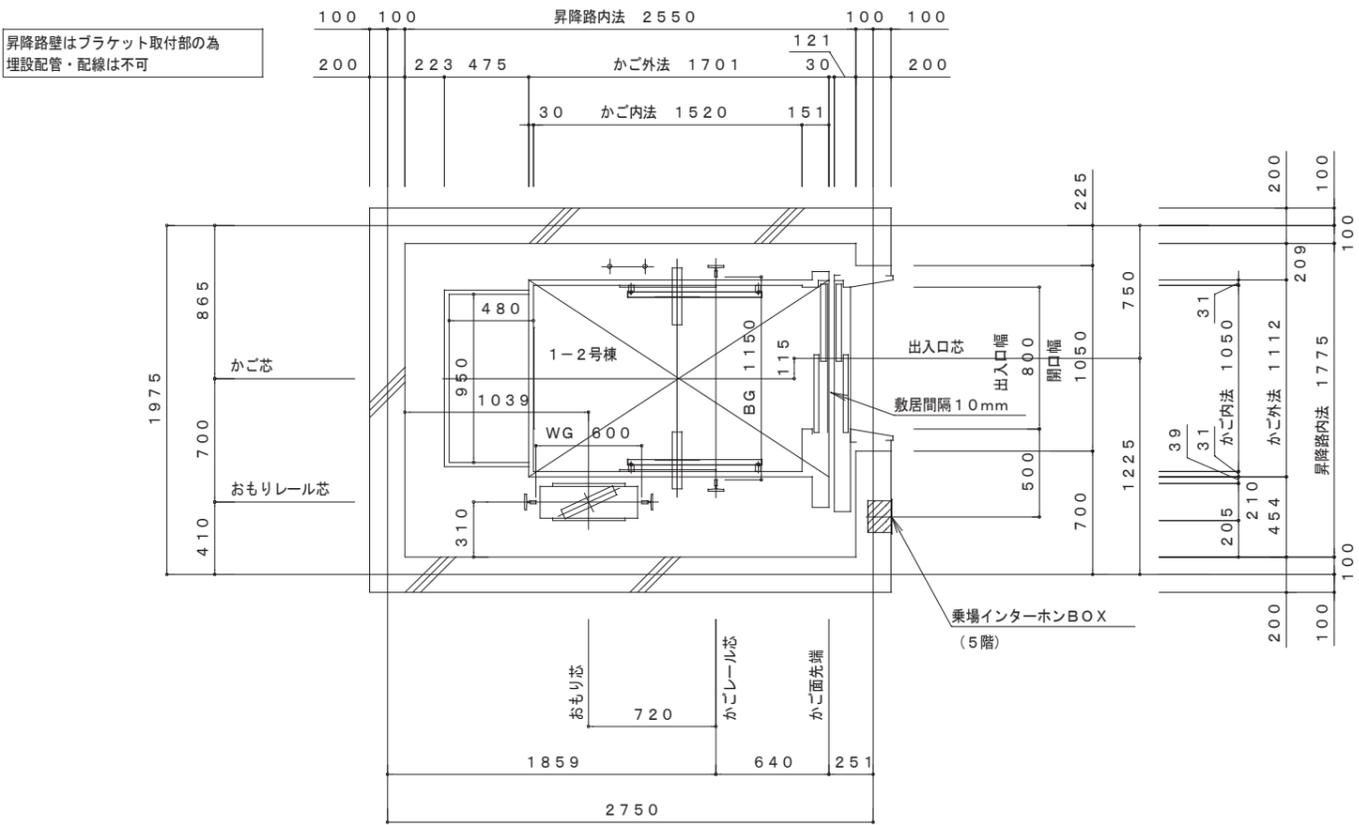


昇降路平面図 (1/30)
(1階)

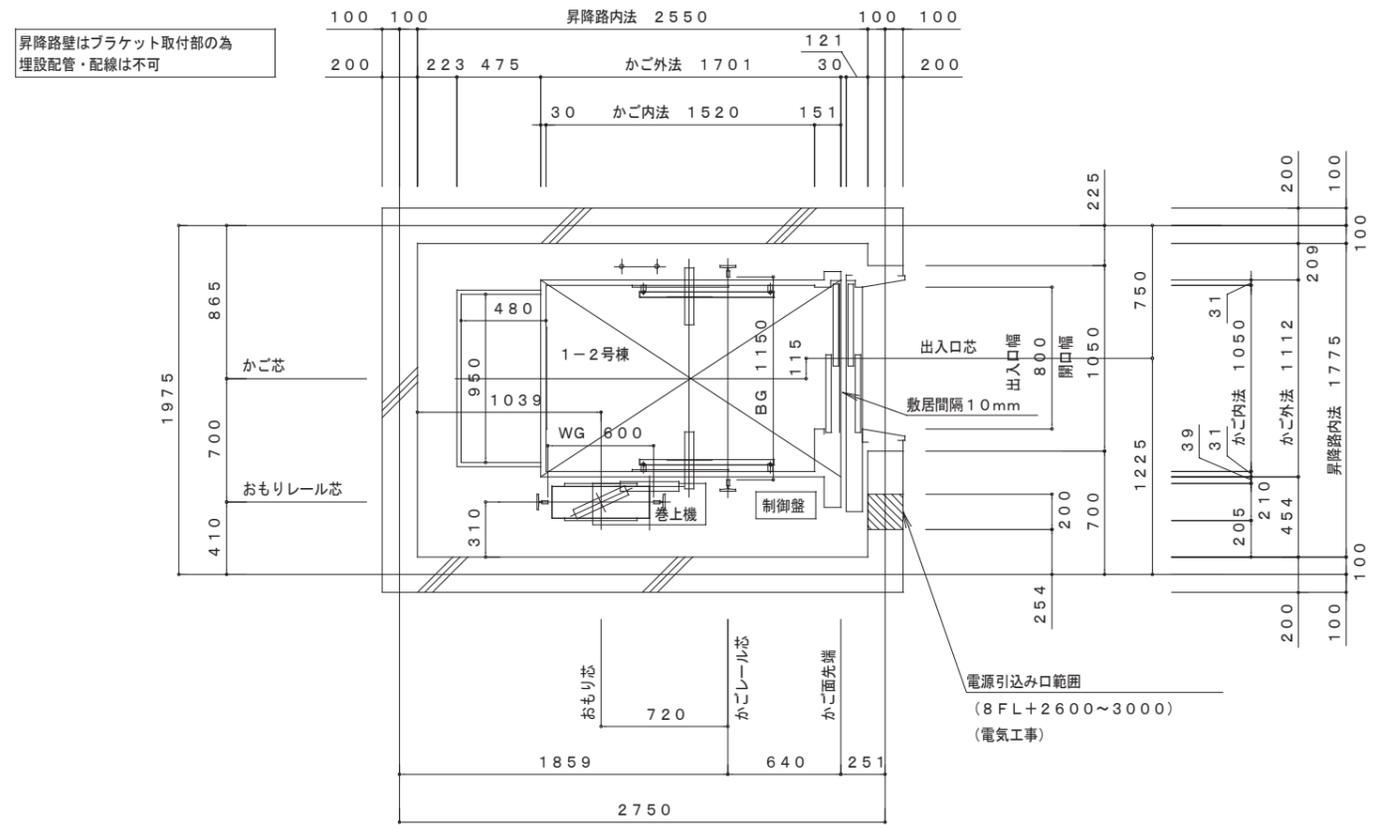
昇降路壁はブラケット取付部の為埋設配管・配線は不可



注: 上記矢印の地震時荷重により柱、梁などのたわみの合計が5mm以下となるよう部材を設計のこと。又、ねじれに対し強固に取付ること。



昇降路平面図 (1/30)
(2-7階)



昇降路平面図 (1/30)
(8階)

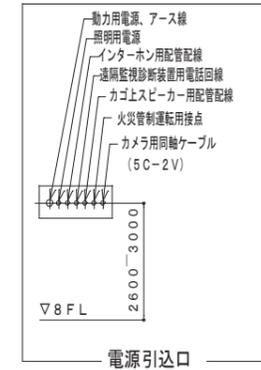
動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 ^(*)	電線サイズ	接地線サイズ
1-2号棟	AC3φ210V 60Hz	4.1kW	4kVA	40AT	100mA以上 0.2秒以上	72mまで 8mm ² 125mまで 14mm ² 191mまで 22mm ²	3.5mm ²

照明用電源AC1φ100V60Hz (設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台)

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込み口 (8FL+2600~3000)
動力用AC3φ-210V-60Hz
照明用AC1φ-100V-60Hz
D種接地工事
電源線引出し長さ 7000mm
(電気工事)



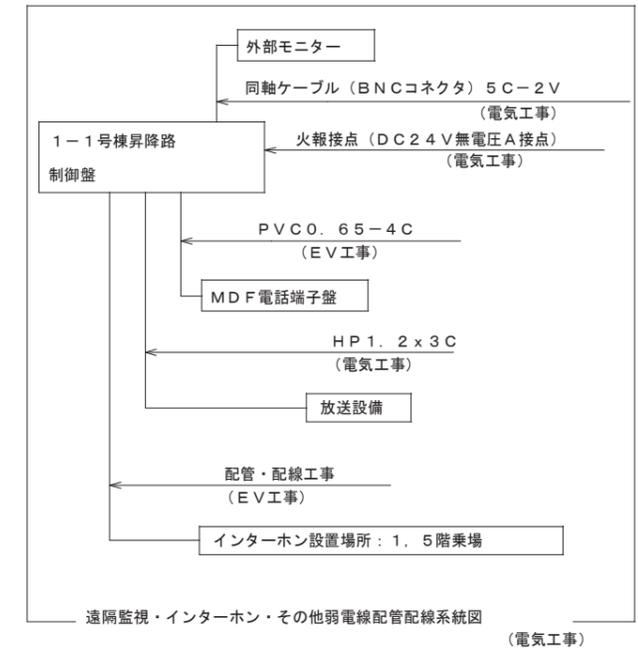
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

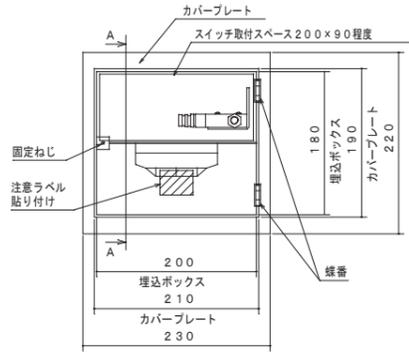
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 Pi (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (Ki)	6パルス等価 容量 [Ki x Pi] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
ノイズフィルタのみ (標準)	1-2号棟 AXIEZ-LINKs (600kg-60m/min)	5.1	1	5.1	31	3.4	17.4	25	65	41	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (Ki=1.8相当)									30	13	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流す高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策を求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

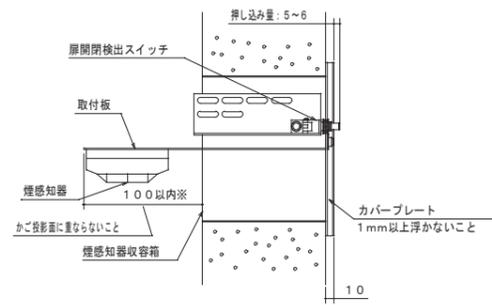
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{\text{受電電圧 (kV)} \times \sqrt{3}} \times 10^3 \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$





煙感知器・点検ボックス (参考例)

※点検ボックスは建築工事



矢視 A-A

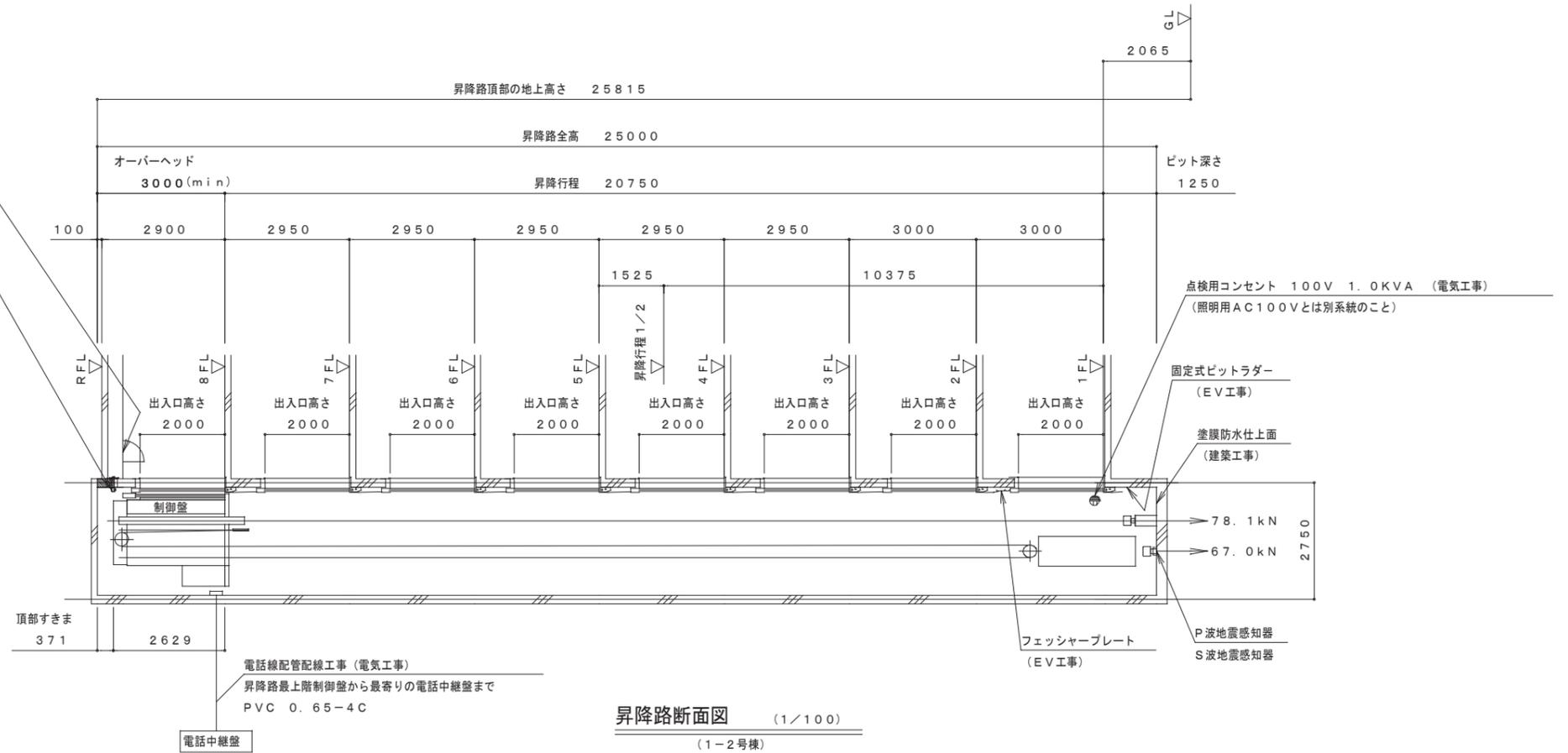
※取付位置 検討願います。

- 煙感知器 (電気工事)
- ・外部より点検可能な構造として下さい
 - ・雨水浸入が無い様配慮下さい
 - ・EV連動スイッチ付 (EV工事)
 - ・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
 - ・点検口は下記①または②として下さい
- ①EV昇降路専用用品 (スイッチ取付台座付き) (1)~(4)のいずれか
- (1) ホーチキ KUS-1C
 - (2) 能美防災 FXSJ001A-HU
 - (3) ニッタン NID-T-G
 - (4) パナソニック BV95351 (BOX) + BV95381H (扉)
- ②以下2項目を満足する点検口 ~ 「煙感知器・点検ボックス (参考例)」参照
- (1) スイッチ取付スペース200x90程度確保できる。
 - (2) 錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かさないこと。

※取付位置 検討願います。

昇降路内の温度は40℃以下とする

天井のある場合は天井点検口必要 (建築工事)

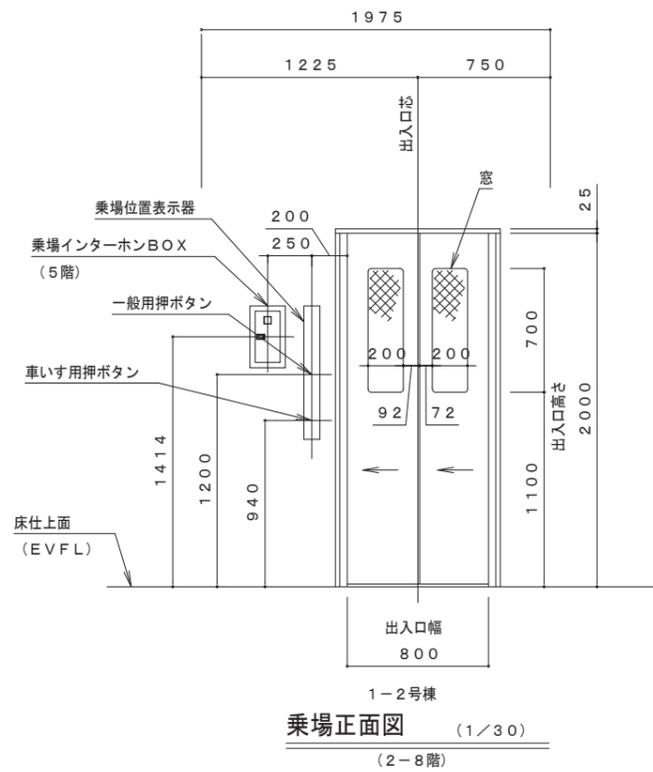


昇降路断面図 (1/100) (1-2号棟)

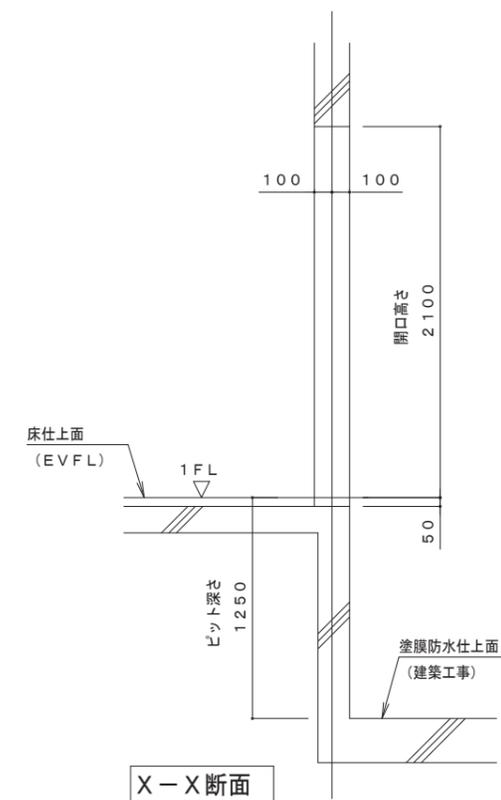
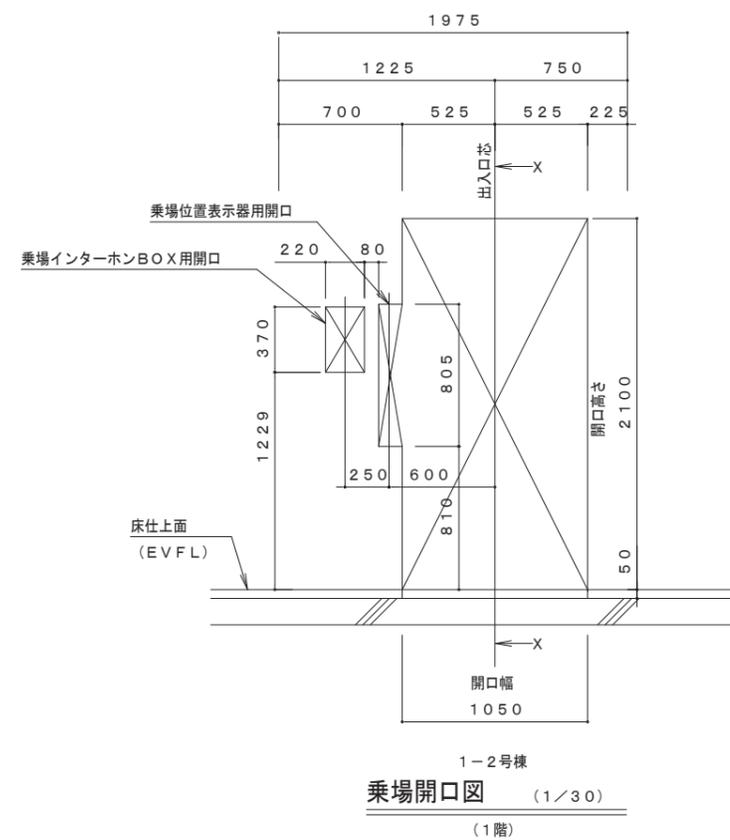
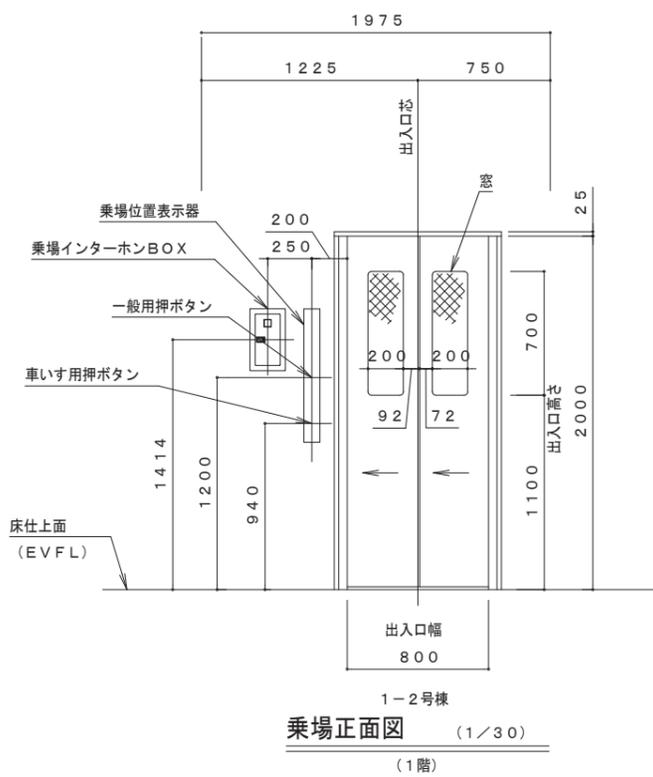
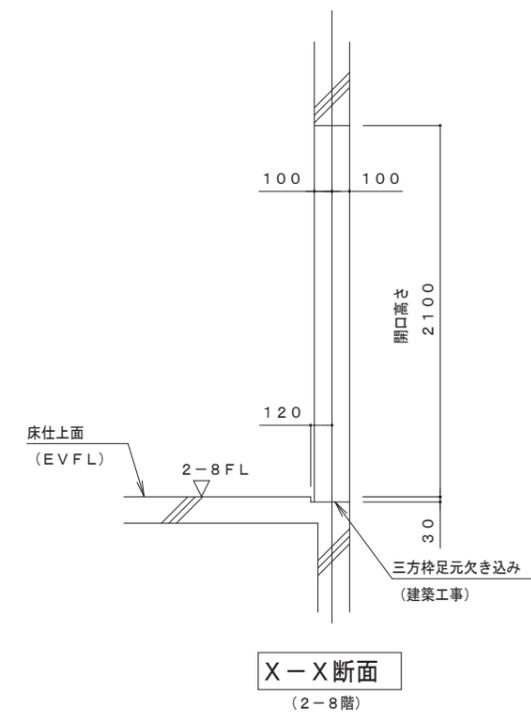
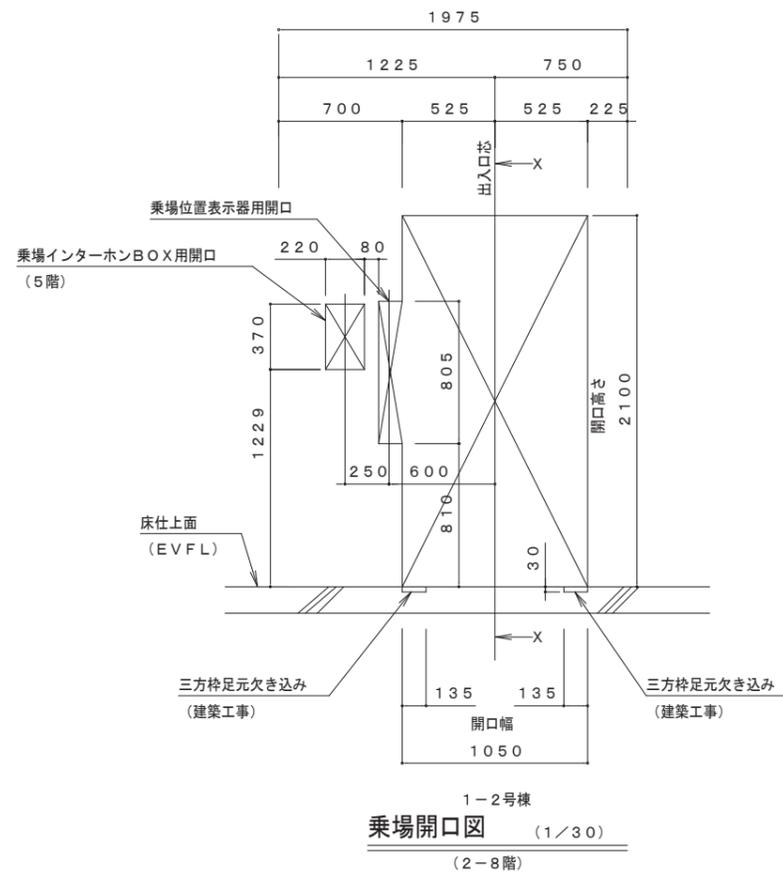
2-8FL=建築2-8FL
1FL=GL+2065

ブラケット取付のため、ビット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合は仕上厚を考慮して下さい。



※窓付の場合は、特定防火設備に該当しません



エレベーター仕様要項		
分類	仕様項目	2号棟
基本仕様	機種名称	機械室レスエレベーター
	機種形名	RT9-2S
	用途	乗用
	制御方式	可変電圧可変周波数制御（回生なし）
	操作方式	集合全自動方式（1C-2BC）
	積載量	600kg
	定員	9名
	定格速度	4.5m/min
	戸閉方式	2枚戸片引き（2S）
	出入口幅	800mm
	出入口高さ	2000mm
	かご室サイズ（内法開口）	1050mm
	かご室サイズ（内法奥行）	1520mm
	かご室内法高さ	2300mm
	出入口方式	一方向出入口
正面側停止数	6停止（1-6階）	
動力用電源	AC3φ-210V-60Hz	
照明用電源	AC1φ-100V-60Hz	

その他基本仕様	耐震設計施工指針耐震クラス	クラスA14
	戸閉走行保護装置	あり
	かご室トランク	トランクあり
	数居間隔	10mm
	車いす仕様	制御機能付
	視覚障がい者対応仕様	あり
	地震時管制運転方式	P波+S波センサ付3段設定（普通級）
	停電時自動着床装置（MELD）	あり
	かご内防犯カメラ	カメラ別途工事（ケーブル・カメラ用電源エレベーター手配）
	かご呼び取消機能	あり

乗場仕様	乗場三方枠	大持束広幕板なし 130mm~350mm ステンレスヘアライン（1-6階）
	乗場戸	ステンレスヘアライン（1-6階）
	乗場戸窓	網入り合わせガラス（200×700mm）仕上面段差なし10.56（1-6階）
	乗場敷居	ステンレス製（1-6階）
	乗場インジケータ	一体セグメントLED（橙色） ステンレスヘアライン（1-6階）
	乗場インジケータボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-6階）
	乗場インジ運行表示灯1	休止表示
	乗場インジ運行表示灯2	専用表示
	車いす専用乗場ボタンプレート	一般用乗場ボタン+体形 ステンレスヘアライン（1-6階）
	車いす専用乗場ボタン	ステンレスクリックボタン（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート（1-6階）
乗場タッチレス機能	タッチレスボタン・クリック機能付（一般用+車いす専用）抗ウイルス・抗菌仕様（1-6階）	

かご室仕様	天井	スタンダード：フラット（白色） 天井素材：鋼板塗装（メーカー標準色）
	正面壁	化粧鋼板
	側面壁	化粧鋼板
	袖壁材質	ステンレスヘアライン
	出入口上板	化粧鋼板
	かご室戸	化粧鋼板
	かご室戸窓	網入り合わせガラス（200×700mm）仕上面段差なし10.56
	巾木	アルミ製
	かご床	ステンレス製
	かご室敷居	アルミ製 2枚戸片引き用
	かご操作盤タイプ	袖壁操作盤
	かご操作盤フェースプレート材質	ステンレスヘアライン
	かごボタン	タッチレスボタン・クリック機能付（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	正操作盤インジケータタイプ	かご内液晶インジケータ（10.1インチ）
	かご操作盤液晶インジケータ表示言語	2カ国語表示（日本語、英語）
その他仕様	車いす専用かご操作盤	両側面 ステンレスヘアライン
	車いす専用正かご操作盤インジケータタイプ	ドットLED（橙色）
	車いす専用かごボタン	タッチレスボタン・クリック機能付（φ33・凸文字・黄橙色LED）抗ウイルス・抗菌コート
	かご室換気	ヘルスエアー（空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能）
	かご室手すり	丸形ステンレス 二面取付（両側面）
	かご室鏡	ステンレス鏡面枠なし3分割（570mm×1400mm）
	キックプレート	板厚2.0ステンレスヘアライン（ビスなし）高さ：床面より350mm
	壁保護幕	T字カット磁石式（保護幕高さ標準：床面より上端まで1895mm）
	床保護マット	あり
	戸閉押し込まれ防止センサー	あり
	セーフティシュー	片側（多光軸センサー付き）
	自動戸閉促進・乗場前検知つまれ防止	あり
	遮煙機能	大臣認定品 2枚戸片引き用（1-6階）（認定番号CAS-0520）
	点字名板取付方法	接着
	発音式かごボタン	行先階ボタンのみ
発音式乗場ボタン	あり	
おもり非常止め	なし	
火災時管制運転方式	火報信号連動式	
冠水時管制運転	あり	
インターホン型式	6V1局	
乗場インターホンボックスタイプ	ステンレスヘアライン（埋め込み形）（1.5階）	
無電圧A接点支給	防犯警報ボタン押下時	
防犯警報装置方式	かご室防犯警報ボタン式	
警報装置連動各階強制停止	あり	
インターホンボタン連動乗場ベル	あり	
かご内アナウンス	かご内音声合成アナウンス	
フッシュャープレート	エレベーター手配（標準品）（2-6階）	
煙感知器点検ロイッチ	正面側上部取付	
遮炎性能	乗場扉あり	

車椅子仕様	
1. かご専用操作盤（正・副2面取付）※車椅子マーク付	
2. かご内鏡（正面壁部：3分割）	
3. かご内手摺：両側壁2方	
4. 乗場専用押ボタン（各階）※車椅子マーク付	
5. かごの戸光電装置（多光軸式）	
6. 戸開放時間延長（10秒）	
7. 戸閉速度制御	
8. 床合わせ補正装置	

視覚障害者仕様	
1. 各階乗場押ボタンに点字名板貼付	
2. かご操作盤に点字名板貼付	
3. 戸開放時間延長	
4. オートアナウンス装置	

外部連絡装置（インターホン親機）設置上の注意点	
エレベーターかご内のインターホンは、常に外部のインターホン親機と連絡できるようにすること。管理人室等に設置する場合は、24時間管理人が常駐する必要がある。（建築基準法施行令第129条の10第3項第三号）もしも管理人が常駐しない場合は、以下のいずれかの措置が必要となる。	
<ol style="list-style-type: none"> インターホン親機を共用部（エレベーターホールや廊下等）に設置する。 管理人室内のインターホン親機の鳴動を共用部から確認できるように設置し、鳴動を確認した者が対応できるように、シールや名板で鳴動時の緊急連絡先等の対応方法を明示する。 管理人不在時にはエレベーターを使えない状況にする。 例えば、営業時間内のみ管理人室等に管理人が常駐するならば営業時間外は建物を閉鎖する。 	

(注) エレベーターメンテナンス契約について
<ul style="list-style-type: none"> このエレベーターは、エレベーターリモートメンテナンス契約対応可能機種です。
<p>〔サービス仕様〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 基本サービス <ul style="list-style-type: none"> 地震時エレベーター自動診断&復旧システム 地震時管制運転継続で停止したエレベーターについて、異常の有無を自動診断して安全確認し、異常がなければ自動復旧させます。 遮煙診断 診断運転モードにより、深夜などに高密度な乗換を無人で行います。 遮煙閉込め救出 インターホンとカメラでエレベーター内の状況を確認し、遮煙操作によりかご内に閉込められた乗客を救出します。 フレキシブルメニュー <ul style="list-style-type: none"> スマートフォンサービス 専用アプリをインストールしたスマートフォンを携えて、乗換機機体が設置された乗場に近づくとハンズフリーで自動呼出し、先行階の自動急降などが行えます。 防犯カメラ録画サービス エレベーター内カメラの画像を専用レコーダーで録画します。録画した画像はUSBメモリで簡単に取り出し、確認が可能です。 ・モニタリングサービス エレベーター内の動きを画像解析技術で判別します。動きが激しい、ずっと動かないなど、もしもの緊急事態を検出し、エレベーター停止などを行います。
<ul style="list-style-type: none"> ※上記サービス提供の為に、メンテナンス契約が必要になります。 ※各サービスについては、一部契約対象とならないエレベーターがあります。 ※リモートメンテナンス機能をより有効に活用することで、「ビル連網監視サービス」が利用可能です。（デジタルレコーダー異常、各種設備故障、火災・侵入、その他） ※スマートフォンサービスは、遮煙監視用回線にLTE回線が適用できる場合となります。

乗場遮煙ドア設置上の条件	
<ul style="list-style-type: none"> ・乗場遮煙ドアを設置するためには、自動火災報知設備の設置義務の無い建物であっても、同設備を設けること。 ・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、乗場遮煙ドア設置時のエレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器を設置し、火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給すること。（無電圧a接点、接点電圧DC24V） 	

2号棟

除外工事事項

建築工事関係

- 昇降路の築造工事及び各階出入口、インジケータ、押ボタン等の穴あけ工事
（昇降路壁は5cm²辺り300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること）
- 各階乗場出入口枠周囲のモルタル詰め工事
- 乗場機器取付後の出入口廻りの壁及び床の仕上工事
- 昇降路頂部にエレベーター機器構重用のフック設置工事（E.V工事から支給）
- 通過階がある場合の非常救出口設置工事（かご数居先端から125mm以下）
- ピット内防水仕上工事（必要の時は、排水設備工事含む）
- ピット床下部使用の場合の建築対策工事
- ピットが深い場合の埋め戻し・浅い場合ははつり工事
- 段違いピット時のピット内保護柵工事（必要の場合）
- 昇降路内の騒音・振動が居室に伝播しないレイアウトおよび各種防音・防振工事
※居室への影響を検討のうえ、適切な防音・防振対策を行ってください
（対策例1）昇降路の壁（RC）を厚くする
※（200mm以上推奨）
（対策例2）隣接居室内のボードや天井を、昇降路壁（RC）に直接接しない工法とする
（対策例3）隣接居室内のボードに制振材（鉛板）、吸音材を貼付ける
- その他建築に関する工事

設備工事関係

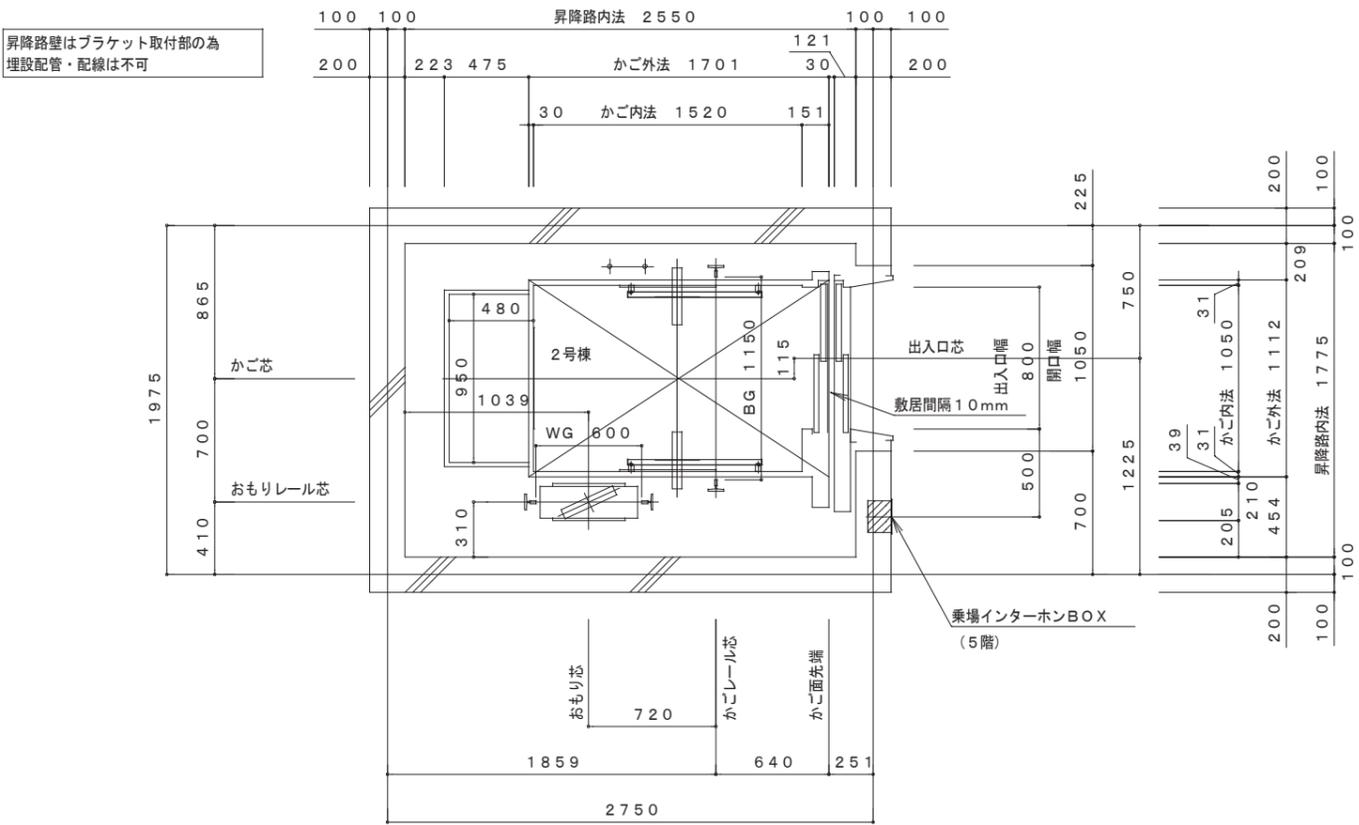
- 動力用電源・照明電源・接地線の受電端子迄の引込工事（紫ぎ込み工事含む）
- インターホン取付位置より昇降路までの配管配線工事（0.9φ×10本）／台
- 火報信号の昇降路より外部の配管配線工事
- 遮煙ドアご採用の場合、遮煙ドア設置階乗降ロビーに火災感知器または、煙感知器の設置工事
- 建設設備運動に必要な接点供給工事
- ピット内点検用コンセント設備工事（照明用AC100Vとは別系統のこと）
- 昇降路頂部の煙感知器設備工事（外部より点検可能なこと）
平成20年国土交通省告示第1454号第一号により点検口の戸は錠付（工具を必要とするネジでも可）とし戸が開いた時にはエレベーターを停止させる必要がある
- かご内TVカメラがある場合、かご内TVカメラ用配管配線工事（昇降路からモニター設置場所まで）
・5C-2V同軸ケーブル
- かご室スピーカーがある場合、放送用配管配線の昇降路制御盤までの引込工事（非常放送がある場合3線式とすること）

- 昇降路の換気設備工事（平成12年建設省告示1413号第1第三号ニより昇降路内温度を40℃以下に保つ必要があります）
発熱量 エレベーター駆動部（Wδ0台）1
+エアコン（-W／台）1
- 据付工事用の仮設電源を無償支給願います。（本設電源と同じ電源仕様にて支給願います。）
- 監視盤電線の監視盤までの引込工事及び配管配線工事

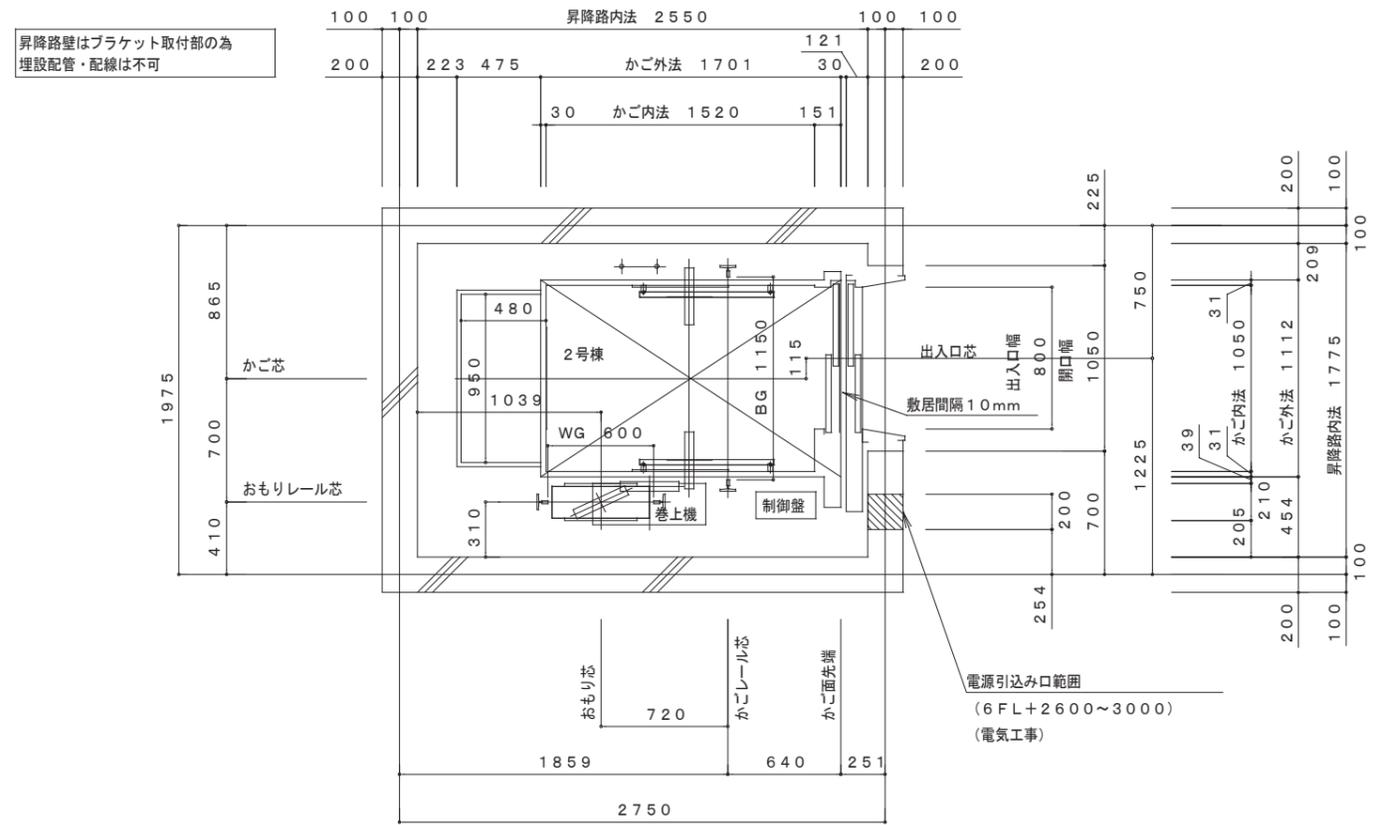
注意事項

- 昇降路開口・奥行寸法は、昇降路全域（ピット底部から昇降路頂部まで）にわたり確保のこと
- コンクリート強度は24N/mm²以上のこと
- 電源電圧の変動は+5%~-10%以内、電圧不平衡率5%以内のこと
- 本エレベーター所定の性能維持のため下記条件が必要です
（1）昇降路内の温度は-5℃~40℃以内、湿度は月平均90%・日平均95%未満かつ急激な温度変化等となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
（2）金属を損耗または腐食したり接点の接触障害の原因となるような塵及び化学的有害ガスがないこと
- （1）屋上等直接外気と接する乗場における雨水よけ設備（ひさし・風除室・水勾配・グレーチング・防潮板等）
（2）センサ誤動作防止、及び乗場戸熱変形防止のため、強い光が当たらないよう対策を実施のこと
- 昇降路壁には電気・水道管の配管・器具を埋め込まないこと
- 昇降路内には他の用途の配管・ダクト等が露出しないように願います
（建築基準法施行令第129条の2の4第1項第三号）
- 遮断器はインバータ回線対応のものを使用すること
- 輸送可能な適温配器車や台車などの重量物は250kg以下とすること
- 換気設備を設置する場合は昇降路外部より保守可能な位置とし、設置環境により雨水或いは、防水対策を実施のこと
- エレベーターの保守・点検ならびに緊急対応のため、外部階段などから最上階および最下階エレベーターホールへアクセスできる経路を確保すること（個人宅など占有部を経由しないこと）

- エレベーターから発生する高周波漏洩電流と高周波ノイズにより、他の設備に影響を受ける恐れがあります
次の対策をお勧めします
（1）エレベーター動力と通信機器・OA機器等弱電機器の電源線・通信線を1m以上分離する
（2）エレベーターを含む動力の電源トランスと通信機器・OA機器等弱電機器の電源トランスを分離する（エレベーター照明用電源は弱電機器のトランスと分離不要）
（3）エレベーターを含む機器アース線と通信機器・OA機器等弱電機器のアース線の分離配線と接地極の分離をする
- 乗場壁へウレタン吹付けを行う場合は、乗場機器取付け後に施工願います。乗場機器取付け前にウレタン吹付けを行うと、乗場機器取付け時の溶接の火花に引火する恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあります
- 乗場に向かって強風が吹く場合には、防風対策（建築工事）を行ってください。風圧により乗場の戸が開まらない恐れがあります
- 製品の検査は各規格に準じた社内基準にて行います。
電動機（巻上機・駆動機）：JEC-2110、2130、JIS C-4034-1
制御盤：JEM1021、1460
尚、電動機の温度上昇試験・負荷特性試験は型式試験結果です。



昇降路平面図 (1/30)
(2-5階)



昇降路平面図 (1/30)
(6階)

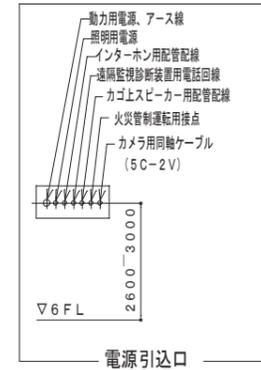
動力電源設備 (CVT電線使用時)

号機名	電源電圧 周波数	電動機容量	設備容量	電源側NF容量	感度電流値 動作時間 ^(*)	電線サイズ	接地線サイズ
2号棟	AC3φ210V 60Hz	3.1kW	3kVA	30AT	100mA以上 0.2秒以上	95mまで 8mm ² 165mまで 14mm ² 251mまで 22mm ²	2.0mm ²

照明用電源AC1φ100V60Hz (設備容量1kVA/台 電源側NF容量20AT/台)

(*) 電源側に漏電遮断器を設置する場合

電源引込み口 (6FL+2600~3000)
動力用AC3φ-210V-60Hz
照明用AC1φ-100V-60Hz
D種接地工事
電源線引出し長さ 7000mm
(電気工事)



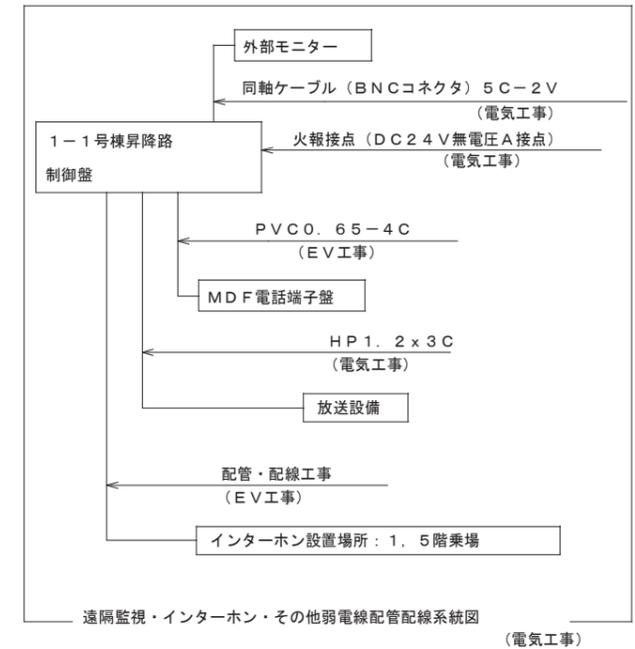
高調波対策 (高調波流出電流計算値)

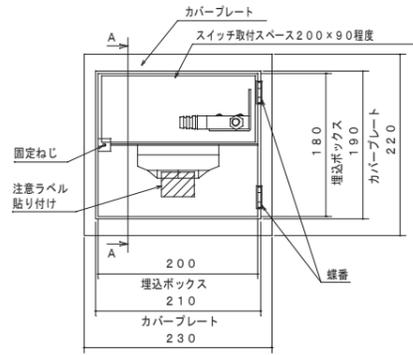
高調波対策内容	機器名称	定格容量 (kVA)	台数	合計容量 Pi (kVA)	回路分類 細分No.	6パルス 換算係数 (Ki)	6パルス等価 容量 [Ki x Pi] (kVA)	機器最大 稼働率 (%)	基本電流に対する高調波電流発生率 In (%)							
									5次	7次	11次	13次	17次	19次	23次	25次
○ ノイズフィルタのみ (標準)	2号棟 AXIEZ-LINKs (600kg-45m/min)	3.9	1	3.9	31	3.4	13.2	25	6.5	4.1	8.5	7.7	4.3	3.1	2.6	1.8
DCリアクトル追加 (Ki=1.8相当)					33	1.8	7	25	3.0	1.3	8.4	5	4.7	3.2	3	2.2

高圧または特別高圧需要家が高調波発生機器を新設、増設または更新する場合には「高圧または特別高圧で受電する需要家の高調波抑制対策ガイドライン」への適用が求められます。ガイドラインではその需要家から流出する高調波電流の上限値を定めており、超過する場合には何らかの対策が求められます。

※ 各次数毎の高調波流出電流量は以下の計算により求めることができます。

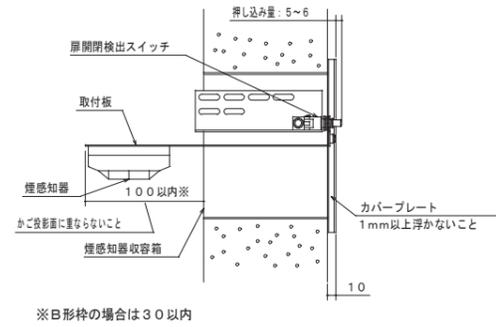
$$\text{各次数毎の高調波流出電流量 (mA)} = \frac{\text{合計容量 } P_i \text{ (kVA)}}{10^3} \times \text{各次数毎の発生率 } I_n \text{ (\%)} \times \text{機器最大稼働率 } k \text{ (\%)}$$





煙感知器・点検ボックス (参考例)

※点検ボックスは建築工事



矢視A-A

※取付位置 検討願います。

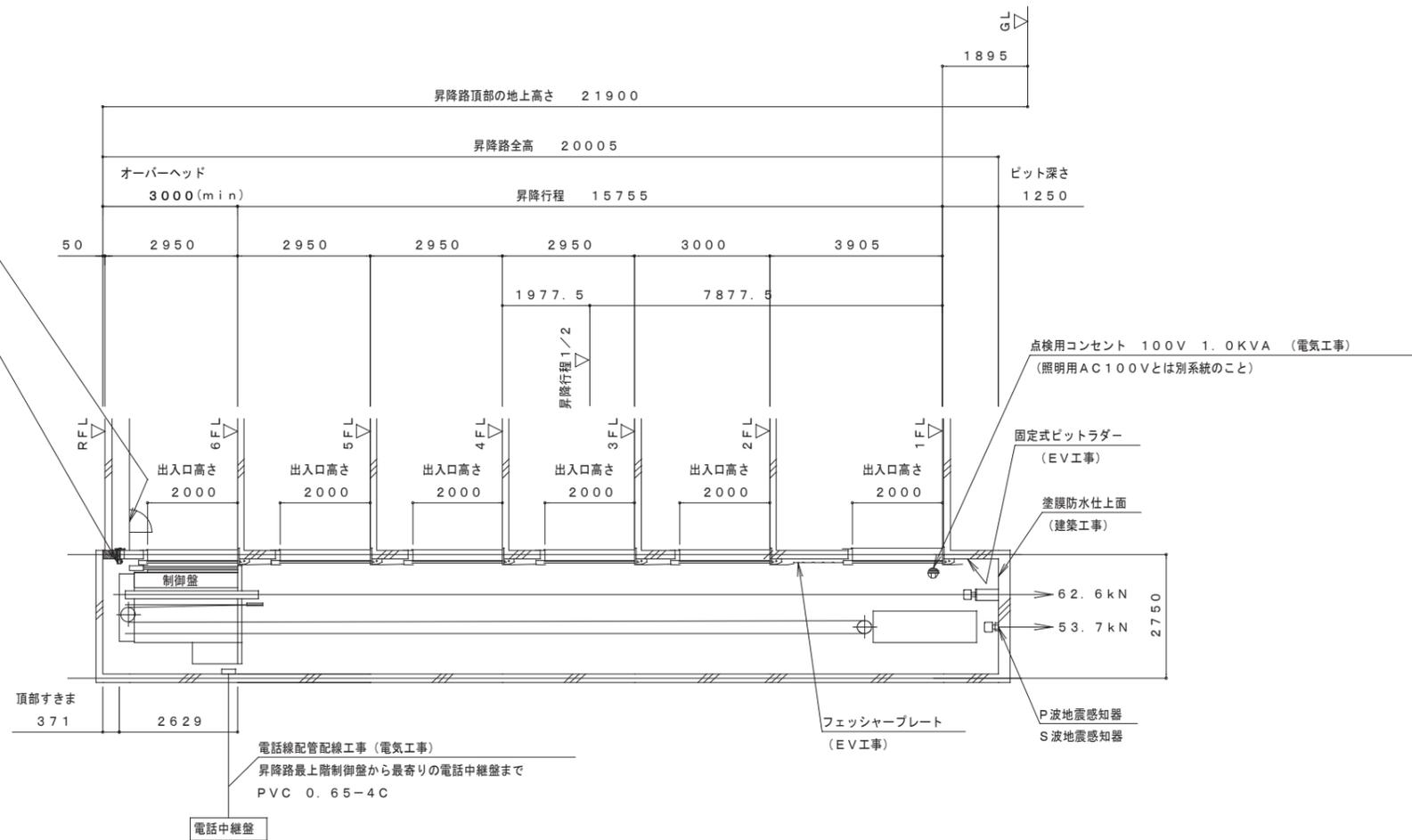
煙感知器 (電気工事)

- ・外部より点検可能な構造として下さい
 - ・雨水浸入が無い様配慮下さい
 - ・EV連動スイッチ付 (EV工事)
 - ・煙感知器はかご投影面にかからない位置として下さい
 - ・点検口は下記①または②として下さい
- ①EV昇降路専用品 (スイッチ取付台座付き) (1)~(4)のいずれか
- (1) ホーチキ KUS-1C
 - (2) 能美防災 FXSJ001A-HU
 - (3) ニッタン NID-T-G
 - (4) パナソニック BV95351 (BOX) + BV95381H (扉)
- ②以下2項目を満足する点検口 ~ 「煙感知器・点検ボックス (参考例)」参照
- (1) スイッチ取付スペース200×90程度確保できる。
 - (2) 錠付または工具を必要とするネジ付きの蓋で、1mm以上浮かないこと。

※取付位置 検討願います。

昇降路内の温度は40℃以下とする

天井のある場合は天井点検口必要 (建築工事)



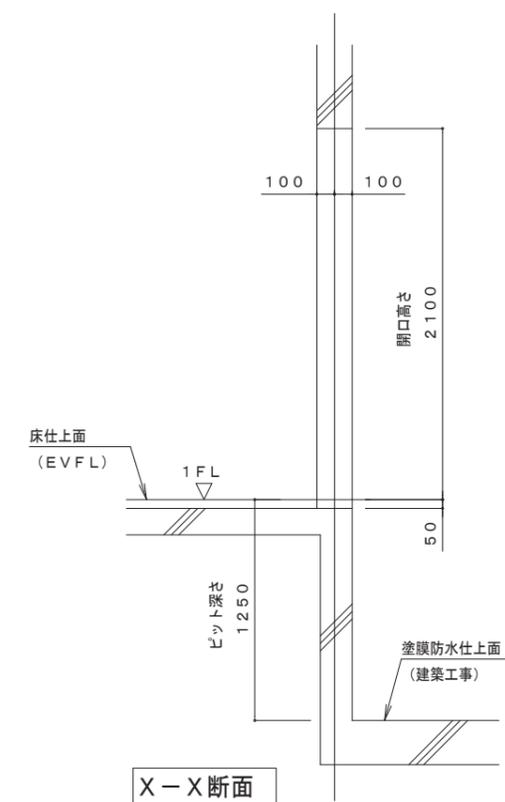
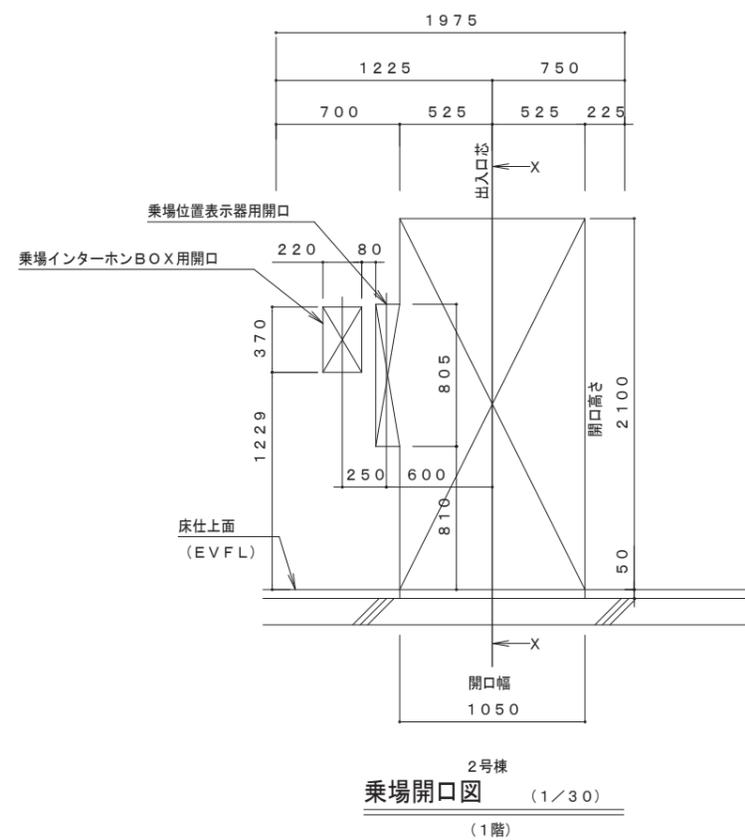
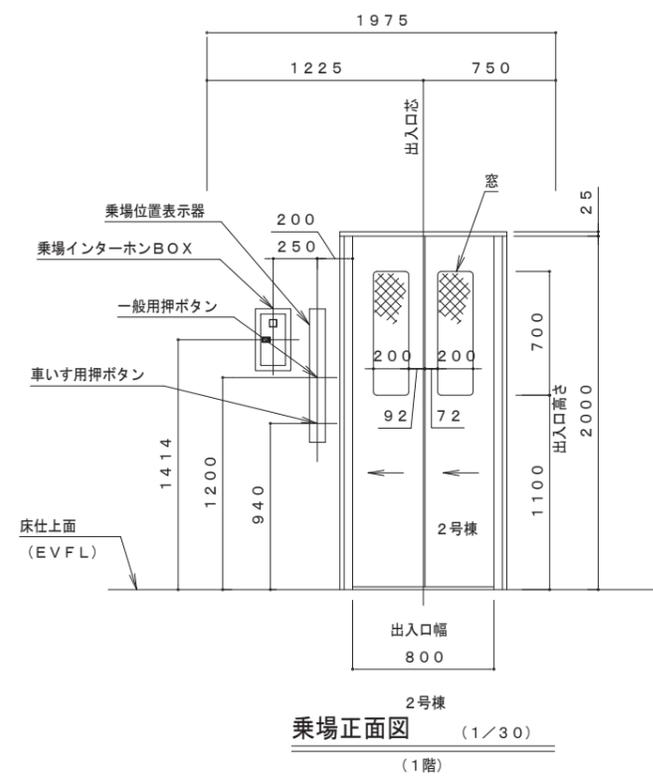
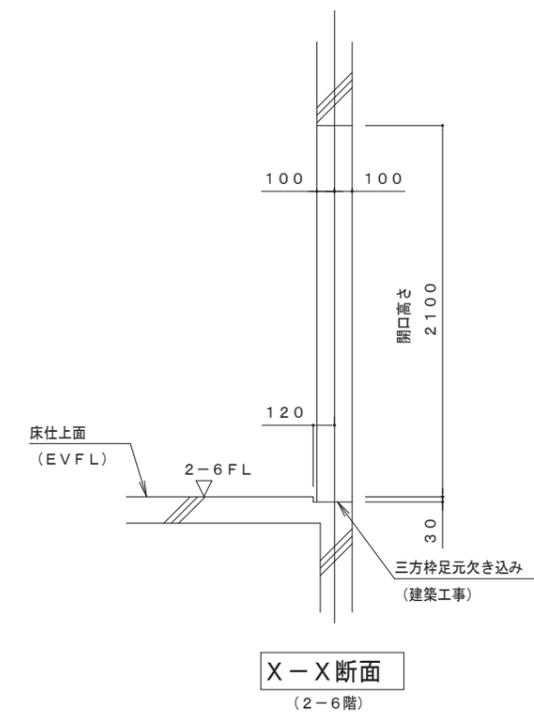
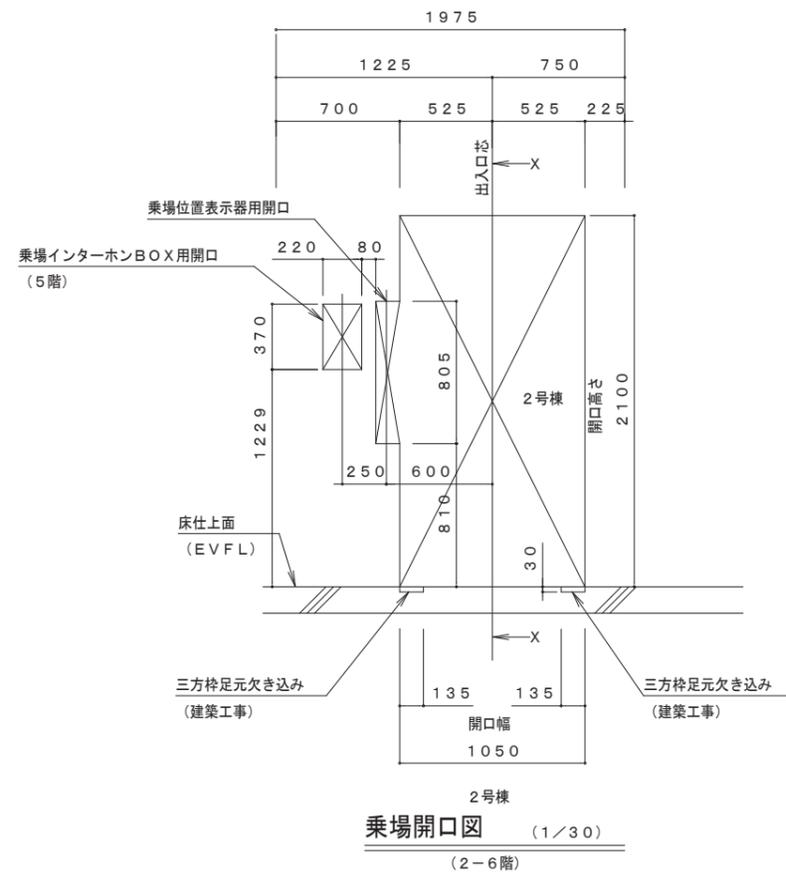
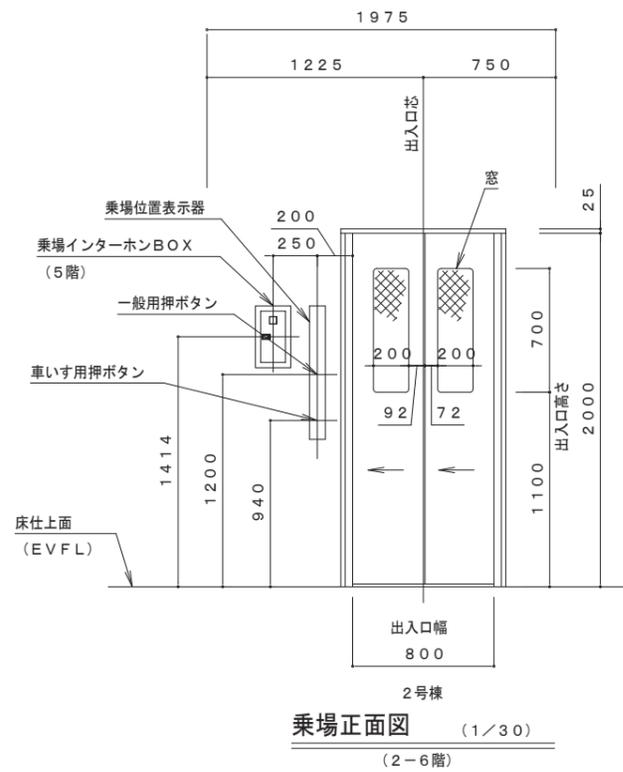
昇降路断面図 (1/100)

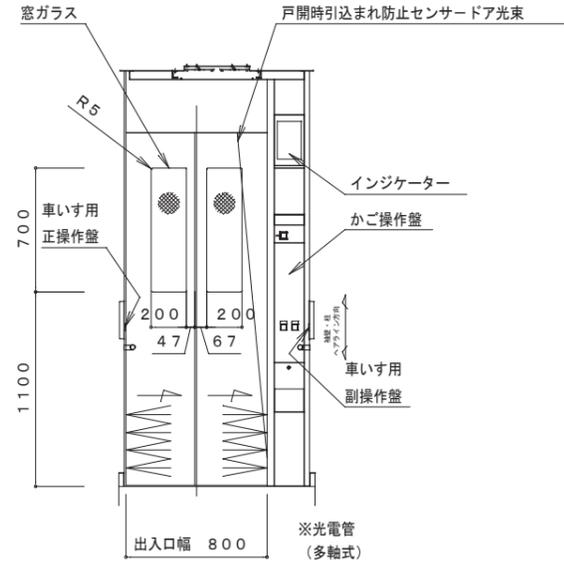
(2号棟)

2-6FL=建築2-6FL
1FL=GL+1895

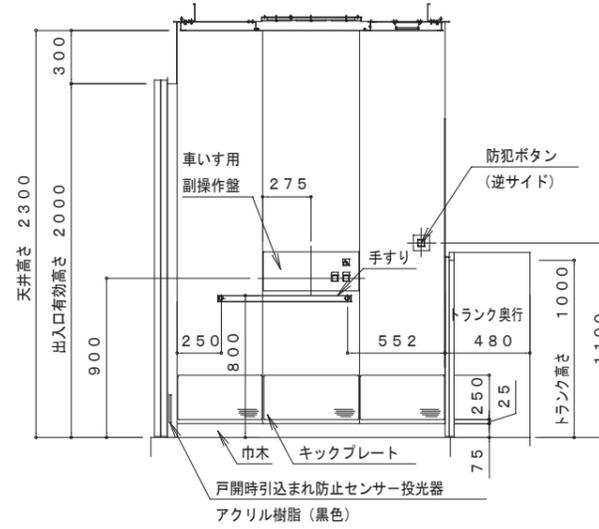
ブラケット取付のため、ピット内の壁または梁は最下階FL面まで立ち上げて下さい (建築工事)

図面は塗膜防水仕上後の有効寸法です。モルタル防水仕上の場合仕上厚を考慮して下さい。

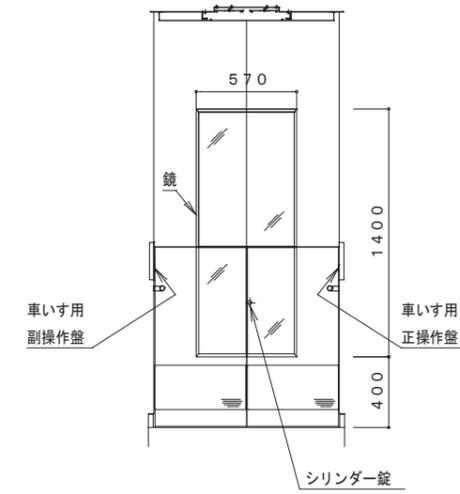




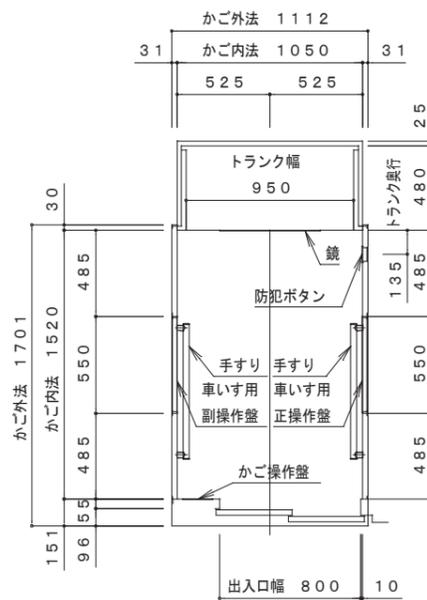
カゴ室正面図 (1/30)



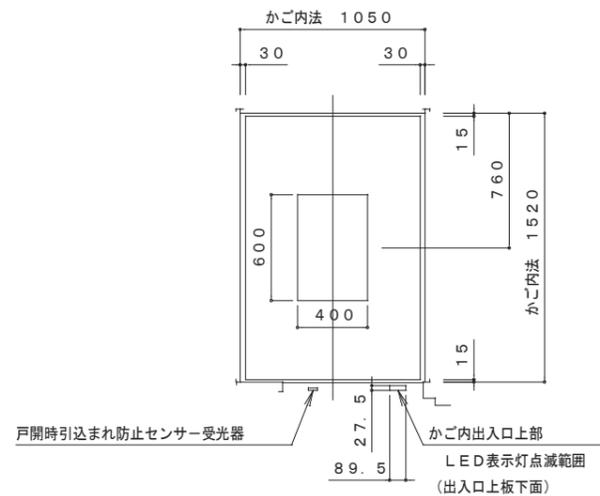
カゴ室側面図 (1/30)



カゴ室背面図 (1/30)



カゴ室平面図 (1/30)



天井伏図 (1/30)

1-1, 1-2, 2号棟 カゴ室意匠仕様	
天井	鋼板塗装仕上
換気装置	DC軸流ファン 脱臭機能付ウイルス抑制装置ファン (空気中のウイルス・菌の抑制、脱臭、集塵機能)
照明	乳白色樹脂照明板 LED照明 (白色)
停電灯	主照明兼用式
壁	化粧鋼板
出入口上板	化粧鋼板
戸	化粧鋼板
袖壁・柱	ステンレスヘアライン仕上
巾木	ステンレスヘアライン仕上
床仕上部	ステンレス製
敷居	アルミ製
窓ガラス	網入り合わせガラス t10.56 (段差:無) JIS R3205
鏡	ステンレス鏡面仕上 t3 (3分割)
手すり	ステンレスヘアライン仕上 (C32) キャップ:樹脂 (パールメッキ) ブラケット:アルミ ブラケットカバー:樹脂 (パールメッキ)
キックプレート	ステンレスヘアライン仕上:ビス無
保護幕	T字カット磁石式 (保護幕高さ標準:床面より上端まで1895mm)
床マット	あり